NTTぷらら

StreamCruiser® Smart TV 3200

取扱説明書

このたびは、StreamCruiser Smart TV 3200をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

ひかりTV

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、裏表紙に記載の当社ホームページへお問い合わせください。

本書中のマーク説明

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い! お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
Memo お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

本商品は、米国特許およびロヴィ社が保有するその他の知的財産権によって保護されたコピー保護技術を伴うものです。分解したり、改造することは禁じられています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ＶＣＣＩ－Ｂ

使用上のご注意

⚠ 警告

- 本商品の内部に、異物を混入しないでください。開口部や隙間から、内部に液体をこぼしたり異物を入れると、ショートや発火の原因となることがあります。
- 不安定な場所に配置しないでください。傾いた場所や狭い場所などに置くと、落ちたり倒れたりして、破損やけがの原因となることがあります。
- 電源コンセントはタコ足配線をしないでください。タコ足配線は発火の原因となったり、電源使用量がオーバーしてブレーカーが落ちたりし、他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
- 濡れた手で触れないでください。また、濡れた手や汚れた手でケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプタのコードを電源コンセントに抜き差しするときは、ACアダプタのコードを持たずにACアダプタのプラグを持って抜き差ししてください。そのとき、ACアダプタのプラグにほこりがついていないことを確認し、根元まで確実に差し込んでください。また、ぐらぐらする電源コンセントは使用しないでください。感電やショートによる発火の原因となることがあります。また、プラグを抜く際、コンセント面に対して真直ぐに抜かないとコンセント内の刃受けばねの接触が弱くなり、やがて接触不良となり、発熱の原因となることがあります。
- ACアダプタおよびACコードは、必ず付属のものを使用してください。それ以外のもの（PM-700、ST-770付属品を含む）を使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 付属のACアダプタを、本商品以外に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 半年から1年に1回はACアダプタのコードを電源コンセントから抜いて、点検、清掃を行ってください。プラグにほこりがたまっているときは、すぐに電源コンセントからプラグを抜いて点検、清掃を行ってください。プラグ部分にほこりがたまって、火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタのコードや接続ケーブルを傷つける、破損する、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねるなど、しないでください。また、重いものをのせる、踏みつける、挟みこむ、薬品類をかけるなど、しないでください。ACアダプタのコードやケーブルが破損し、火災、感電の原因となることがあります。
- 使用する電圧を間違えないでください。定められた電源電圧以外では使用しないでください。感電、発火の原因となることがあります。
- 異常な熱・煙・音・臭いがする場合は、すぐに使用を中止し、ACアダプタのコードを抜いてください。そのまま使用すると、感電、発火の原因となることがあります。
- キャビネットを開けて、分解、修理、改造をしないでください。修理技術者以外の人は、本商品の分解、修理、改造を行わないでください。感電、やけど、発火の原因となることがあります。また、キャビネットを開けた場合は、保証の対象外となります。
- 電池をショートさせないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 電池を火に投下しないでください。破裂、発火の原因となることがあります。
- 電池を濡らさないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 電池内部の液体が皮膚や目に入ったときは、大量のきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受けてください。失明や傷害の原因となることがあります。
- 電池を火のそばやストーブのそばなど高熱の場所での使用、放置をしないでください。
  漏液、発熱、破裂、発火の原因となることがあります。

使用上のご注意

⚠ 警告

- 製品には小さな部品が含まれています。
  お子様が飲み込んだりしないようにしてください。
- 本商品、リモコン及びACアダプタを電子カーペットの上やこたつの中では使用しないでください。
  肌が触れる部分が低温やけどなどになる恐れがあります。
- 本商品、リモコン及びACアダプタが著しく変色している場合や、外観に破損がある場合は、ACアダプタを電源コンセントから抜いて使用を中止してください。火災・感電の原因となることがあります。
- 暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。ごくまれに筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状をおこす人がいます。そのような経験のある方は事前に医師と相談してください。
- 自動ドア、火災報知器など自動制御機器の近くに置かないでください。本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。
- 本商品、リモコン及びACアダプタを、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用しないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどの誤動作の原因となることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。

使用上のご注意

⚠ 注意
● 本商品、リモコン及びACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しないでください。内部の温度が上昇し、装置の故障、キャビネットの変形、発火の原因となることがあります。
● 湿度の高い場所での保管や使用はしないでください。感電の原因となることがあります。
● 温度差の大きい場所へ移動した場合は、すぐには使用しないでください。本商品を寒い所から急に暖かい所に移動させたときは、本商品内部に結露が発生し、故障の原因となります。万一結露した場合は、ACアダプタを抜いた状態で放置し、完全に自然乾燥させてからACアダプタを接続してください。
● 火気に近づけないでください。キャビネットの変形によるショート、発火や装置温度の上昇による装置破壊の原因となることがあります。
● 使用中にACアダプタのコードを外さないでください。また、ACアダプタのコードに足など引っ掛けないでください。使用中にACアダプタのコードが抜けると、設定中の情報を失うことがあります。
● 近くで雷が発生したときは、ACアダプタのコードを電源コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。近くで雷が落ちた場合は、火災・感電の原因となることがあります。
● 長時間使用しないときは、ACアダプタのコードを電源コンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電、漏電火災の原因となることがあります。
● リモコンに電池を入れるときは、電池の+、-を間違わないでください。液漏れによる火災、リモコンの破損の原因となることがあります。
● 異なった種類の電池、または使用済み電池と未使用電池の混用はしないでください。液漏れによる火災、リモコンの破損の原因となることがあります。
● 長時間使用しないときは、液漏れ防止のため、リモコンから電池を抜いてください。
● リモコンを保管する際、小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。
● テレビの画面に近づきすぎたり、長時間の視聴を行わないでください。視力の低下につながる恐れがあります。
● 映像は、部屋を明るくして視聴してください。暗所で視聴すると、視力の低下につながる恐れがあります。また、てんかんなどを引き起こす恐れがあります。
● 電池を一般のゴミとして廃棄しないでください。 お住まいの地域の、自治体の条例に従って破棄してください。
● 本体前面のUSB、SDカードスロットのカバーに強い力をかけるとカバーが外れる可能性があります。カバーだけで持ち上げたり、振り回したりしないでください。

設置するときのご注意

⚠ 注意

- 本商品の前後左右3cm、上3cmに、壁やものがない場所に設置してください。換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障や変形の原因となることがあります。
- 上に物をのせないでください。変形、破損することがあります。また、換気が悪くなり、本商品内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。
- 屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。
- 温度5℃～40℃・湿度5%～85%で、結露しない場所に設置してください。温度や湿度がこの範囲を超えると、故障の原因となることがあります。
- 直射日光のあたる場所や暖房器具の近くには設置しないでください。内部の温度が上がり、火災・故障の原因となることがあります。
- 水や油などの液体や湯気のかかる場所には設置しないでください。故障の原因となることがあります。
- ほこりや小さな金属片の多い場所には設置しないでください。故障の原因となることがあります。
- 衝撃のかかる場所には設置しないでください。故障の原因となることがあります。
- 接続しているケーブル類を踏まないような場所に設置してください。ケーブルを踏むと、感電や故障の原因となることがあります。
- 梱包箱やビニール袋に入れたまま使用しないでください。本商品内部の温度が上がり、本体の変形、故障、発火の原因となることがあります。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

その他

お願い! お願い

- 本商品をお手入れする際は、ACアダプタのプラグを電源コンセントから抜いて行ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でからぶきしてください。
- 本商品に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形、変色の原因となることがあります。
- 次のようなときは、本商品のSTB電源をOFF にしたり、ACアダプタを電源コンセントから抜いたりしないでください。故障の原因となることがあります。
  - 画面に「電源を抜かないでください。」と表示されているとき
  - 本商品の起動中
  - ファームウェアの更新中
  - ファイル操作中および操作直後

目 次

安全にお使いいただくために必ずお読みください 1
目 次 6
ご使用にあたって 9
知的財産権について 10
返却などされる場合の留意事項 10
登録商標について 10
電波に関する注意事項 11
録画に関するご注意 12
お客様情報に関するご注意 14
SD/SDHC カードに関する注意事項 14
GPL・LGPL について 15
ST-3200 ご利用の流れ 16

1 お使いになる前に 17

1-1 パッケージの内容の確認 17
1-2 各部の名称と機能 18
1-2-1 前 面 18
1-2-2 背 面 20
1-2-3 上 面 21
1-3 リモコンの操作方法 22
1-3-1 リモコンのキー名称と機能 22
1-3-2 電池の挿入 25
1-3-3 マウスモードを利用する 26

2 本商品の設置と接続 27

2-1 本商品の設置 27
2-1-1 横置きで設置 27
2-1-2 縦置きで設置 28
2-2 本商品の接続 30
2-2-1 接続手順 30
2-2-2 USB ハードディスクの接続手順 37
2-3 電源をオンにする 39
2-4 リモコン認証を行う 41
2-5 本商品のリモコンでテレビを操作する 42

3 ひかりTVサービスご利用の準備 44
3-1 ひかりＴＶサービスご利用の準備で使用するリモコンキー 44
3-2 初期設定 45
3-3 地上デジタル/BS デジタル放送の設定 50
4 本商品の設定 55
4-1 本商品の設定で使用するリモコンキー 55
4-2 設定画面の基本操作 56
4-3 メニュー一覧 59
4-4 映像・音声設定 63
4-4-1 音声字幕 64
4-4-2 デジタル音声出力設定 65
4-4-3 映像出力先形状設定 66
4-4-4 HDMI-CEC 設定 67
4-4-5 番組表ジャンル色分け設定 67
4-4-6 操作確認音設定 68
4-4-7 ビデオ未視聴アイコン表示設定 68
4-5 地デジ・BS 設定 69
4-5-1 県域 70
4-5-2 郵便番号 70
4-5-3 地デジチャンネル設定 71
4-5-4 ネットワーク設定 72
4-5-5 文字スーパー表示設定 73
4-6 管理設定 74
4-6-1 回線登録情報変更 75
4-6-2 初期化 76
4-6-3 再起動 76
4-7 リモート設定 77
4-7-1 リモート接続設定 78
4-7-2 リモート接続確認・解除 79
4-7-3 リモート予約同期設定 80
4-7-4 エントリーコード表示 80
4-7-5 りもこんプラス機能設定 81

4-8 ホームサーバ機能 82
4-8-1 ホームサーバ機能について 83
4-8-2 ホームサーバ機能 83
4-8-3 サーバ情報 84
4-8-4 アクセス制限 84
4-8-5 クライアント機器一覧(アクセス許可設定) 85
4-8-6 配信年齢制限 86
4-8-7 ネットワーク設定 87
4-9 録画設定 88
4-9-1 USB ハードディスク接続設定 89
4-9-2 USB ハードディスク取り外し 92
4-9-3 USB ハードディスクフォーマット 93
4-9-4 自動削除設定 93
4-9-5 USB ハードディスク省電力設定 94
4-9-6 プレビュー再生設定 95
4-10 視聴・購入制限設定 96
4-10-1 シークレットモード暗証番号 97
4-10-2 シークレットモード表示設定項目 98
4-10-3 購入制限暗証番号 99
4-11 USB ハードディスク情報 100
4-12 システム情報 101
4-13 バージョン情報 102
5 ひかりTVを楽しむ 103
5-1 ひかりＴＶサービスの内容 103
6 付 録 104
6-1 故障かなと思ったら 104
6-2 ファームウェア更新について 108
6-3 仕様一覧 109
6-4 索 引 112

ご使用にあたって

- 本書は StreamCruiser Smart TV 3200 の取り扱いに関する注意事項について説明しています。ご利用されるサービス内容の詳細については巻末記載の当社ホームページやサービス画面の説明などをご参照ください。
- ご使用の際は本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析(逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど)、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。
- 本商品(本書、ソフトウェアを含む)は日本国内向け仕様であり、外国の規格などには準拠しておりません。また海外で保守サービスおよび技術サービスは行っておりません。国内で使用する場合でも、日本語環境によるご利用のみのサービスとなっております。
  This product is designed for only use in Japan and we are not offering maintenance service and technical service of this product in any foreign country. It works properly in only Japanese Operating System.
- 本商品(ソフトウェア含む)は、外国為替および外国貿易法に定める輸出規制品に該当するため、日本国外に持ち出す場合は、同法による許可が必要です。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた障害や、万一、本商品に登録された情報内容や本商品に接続した USB ハードディスクなどの記憶装置に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失が起きたとしても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は別にメモをとるなどして保管してください。
- ひかりＴＶをご利用いただくには、以下のいずれかのサービスのご契約と、NTT ぷららが提供するひかりＴＶのご契約が必要となります。

  NTT 東日本エリアのお客様：「フレッツ 光ネクスト」

  「Ｂフレッツ」

  NTT 西日本エリアのお客様：「フレッツ 光ネクスト」

  「フレッツ・光プレミアム」

  「Ｂフレッツおよびフレッツ・v6 アプリ」
- 本書掲載の図・画面はイメージであり、実際の表示と異なる場合があります。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合は、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、裏表紙に記載の当社ホームページへお問い合わせください。
- 本書、ハードウェア、ソフトウェア、および外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

知的財産権について

本商品を利用してインターネット上のコンテンツを利用する場合は、著作権法などの法規を守ってお使いください。

返却などされる場合の留意事項

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を返却などされる際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

登録商標について

- StreamCruiserⓇは登録商標です。
- EthernetⓇは米国 XEROX 社の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴおよび、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing,LLC の商標または登録商標です。
- Android、Android ロゴ、Google は、Google Inc.の登録商標です。
- SDHC ロゴは商標です。
- 本商品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。
- Ⓡマークおよび・表記については本文中に明記しません。

電波に関する注意事項

本商品の本体および付属の無線方式リモコン（以下、「本商品」と略す）は、技術基準適合認証を受けた無線機器を内蔵しています。本商品をご使用する際に、無線局の免許は必要ありません。ただし、ご使用にあたっては以下の点にご注意してお取り扱いください。

本商品は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、本書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

■ 本商品は、日本国内でのみ使用できます。
■ 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
・強い磁気、静電気、電波障害が発生する場所(電子レンジ付近など)
・金属製の壁(金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む)の部屋
・異なる階の部屋同士
■ 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
■ 本商品は、技術基準適合認証を受けていますので、本商品を分解・改造した場合や、本商品に貼ってある証明ラベルをはがした場合は、法律により罰せられることがあります。
■ 本商品は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式を採用しており、電波与干渉距離は 10m です。
■本商品に表示した

は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数	2.4GHz 帯
DS	変調方式	DS-SS 方式
1	想定干渉距離	10m 以下
▬▬▬	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること。

録画に関するご注意

- 本商品はお客様が映像を楽しむことを目的とした商品です。本商品に接続したUSBハードディスク以外への録画方法や録画時のトラブルについては、当社サービスのサポート外となりますので、ご了承ください。
- 本商品で録画・録音したものは、著作権法上、個人または家庭内などで楽しむ以外には、権利者に無断で使用できません。なお、著作権法違反に基づく民事および刑事上の責任に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本商品に接続したUSBハードディスクへ、以下の番組は録画できません。
  - 録画禁止の番組
  - ビデオサービス（NHKオンデマンドを含む）
  - カラオケサービス
  - 当社が録画禁止と指定するもの

  また、本商品でUSBハードディスクに録画した番組を別のUSBハードディスクにコピー/移動することはできません。
- 本商品でご利用いただける USB ハードディスクは、当社が動作確認を行った、USB2.0規格に対応したACアダプタ給電タイプのUSBハードディスクです。
  動作確認済みのUSBハードディスクについては、裏表紙に記載の当社ホームページをご覧ください。
  動作確認済みのUSBハードディスクについては、同一メーカー、同一型番であっても動作を保証するものではありません。万一、動作確認済みのUSBハードディスクを利用できなかった場合でも、USBハードディスクの交換、買い取りなどには応じられませんのでご注意ください。
- 当社が動作確認を行った USB ハードディスクを利用して録画できなかった場合、USBハードディスク内部のデータが削除された場合、USBハードディスクが壊れた場合、およびその他USBハードディスクに係るいかなる問題が発生した場合でも、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品に USB ハードディスクを接続してご利用される場合は、初めに本商品にてフォーマットする必要があります。
  フォーマットを実行すると、USBハードディスクに保存されているデータはすべて消去されるため、必要なデータについてはあらかじめ他のメディアなどへの移動を行ってください。
  なお、本商品でUSBハードディスクに録画した番組を別のUSBハードディスクにコピー/移動することはできません。

- USB ハードディスクがパソコンなど他の機器でご利用いただけない状態の場合は、本商品を用いてフォーマットを実行できないことがあります。
- 本商品に USB ハードディスクを接続し、フォーマットを実行する場合は、本商品が認識した USB ハードディスクの最大領域がフォーマットされます。
- 本商品でフォーマットを実行した USB ハードディスクは、パソコンなど他の機器では利用できません。本商品専用の録画用ハードディスクとしてご利用ください。
  録画した番組が保存されている USB ハードディスクを他の機器に接続した場合は、録画した番組が再生できなくなる可能性があります。また、録画した番組が保存されている USB ハードディスクを他の機器で利用した場合は、利用後は、録画した番組の再生ができなくなりますのでご注意ください。
- USB ハードディスクを 2 台以上同時に本商品に接続することはできません。
- USB-HUB などを経由して本商品と USB ハードディスクを接続しないでください。
  USB ハードディスクの故障などにつながる恐れがあります。
- 本商品の故障などにより本体を交換した場合は、交換前に録画した番組を視聴することはできません。
- 動作確認済みの USB ハードディスクについては、裏表紙に記載の当社ホームページをご覧ください。
- 本商品では、暗号化機能、および、認証機能を有した USB ハードディスクはご利用いただけません。また、USB ハードディスク自体が有している省電力機能はご利用いただけません。これらの機能を停止しても、本商品ではご利用いただけないことがあります。
- 本商品では、RAID 機能を有した USB ハードディスクはご利用できません。
  また、機能を停止しても、本商品ではご利用いただけないことがあります。
- 大切な番組を録画される場合は、事前に試し録りするなど、機器が正しく動作することを確認してからご利用ください。
- 録画中、録画した番組の再生中、または録画予約中に、停電、もしくは AC アダプタを電源コンセントから抜くなどにより、本体への通電が断たれると、USB ハードディスクに録画した番組が損なわれることがあります。
- 停電などにより、本体への通電が断たれたため生じた損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お客様情報に関するご注意

- 本商品は、お客様固有のデータを登録、または保持する商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがあります。データの管理には十分お気をつけください。
- 本商品を返却などされる際には、本商品のデータは必ず消去してください。
  本商品の初期化は、取扱説明書に記載された手順に従って実行してください。

SD/SDHC カードに関する注意事項

- SD/SDHC カードを使用したサービスの利用方法、開始時期については、巻末に記載の当社ホームページをご参照ください。

【ご利用前の注意事項】

- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをお勧めします。
- SD/SDHC カードのデータ消失に関して、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- SD/SDHC カードの金属端子面には手や金属で触れないでください。

- SD/SDHC カードを挿入するときは、正しい挿入方向をご確認ください。無理な力を加えて挿入をすると、SD/SDHC カードまたは本商品を破損する恐れがあります。
- データの読み込み中、書き込み中、アクセス中に、SD/SDHC カードを本商品から取り外したり、本商品の主電源を OFF にしないでください。
  SD/SDHC カードに保存されているデータまたは本商品にて作成中のデータが壊れる場合や本商品が正常に動作しない場合があります。
- 多数のファイルが保存されている SD/SDHC カードを挿入した場合、読み込みに時間がかかることがあります。その間、他の操作および処理が正常に行われない場合があります。
- 本商品に対応していないカード（SDXC カード等）を挿入しないでください。カード内部のデータが消失、破損する恐れがあります。

GPL･LGPL について

本商品に格納されているプログラムには、GNU General Public License（GPL）（または GNU Lesser Public License（LGPL））にもとづきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

本商品に格納されているプログラムで上記ライセンスが適用されるオープンソースソフトウェアのソースコードはご要望に応じて媒体提供いたします。ただし下記の点をあらかじめご了承ください。

・ソースコードの内容などについてのご質問には一切お答えできません。

・提供されたソースコードにより作成されるプログラムについては一切の保証をいたしません。

・媒体提供の際には別途実費を申し受ける場合があります。

・ソースコードの提供期間は本商品の生産打ち切り後、概ね３年とさせていただきます。

媒体提供を希望される場合は下記までお問い合わせください。

gpl-130603@sei-networks.com
住友電エネットワークス株式会社
GPL 関連窓口

ST-3200 ご利用の流れ

本商品をご使用していただくには、次のような手順で設定します。

付属品を確認する

「1-1 パッケージの内容の確認」（☞ p. 17）

▼

リモコンを準備する

「1-3 リモコンの操作方法」（☞ p. 22）

▼

本商品と各機器を接続する

「2-1 本商品の設置」（☞ p. 27）
「2-2 本商品の接続」（☞ p. 30）

▼

本商品の電源をオンにして、リモコン認証を行う

「2-3 電源をオンにする」（☞ p. 39）
「2-4 リモコン認証を行う」（☞ p. 41）

▼

ひかりＴＶサービスを利用するための準備をする

「3 ひかりＴＶサービスご利用の準備」（☞ p. 44）

▼

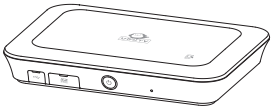
本商品を設定する

「4 本商品の設定」（☞ p. 55）

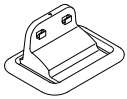
1 お使いになる前に

1-1 パッケージの内容の確認

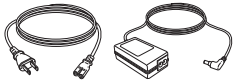
本商品には、本体および付属品が入っています。まず、これらがすべて揃っているかどうかご確認ください。
万一、足りないものや、冊子に乱丁・落丁がありましたら、裏表紙に記載の弊社サポート窓口までご連絡ください。



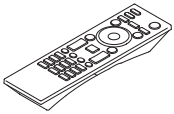
StreamCruiser Smart TV 3200
本体 1台



縦置き台
1個

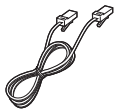


AC アダプタ
(ACケーブル含む)
1対



リモコン
1個

リモコン用単3形電池
2個



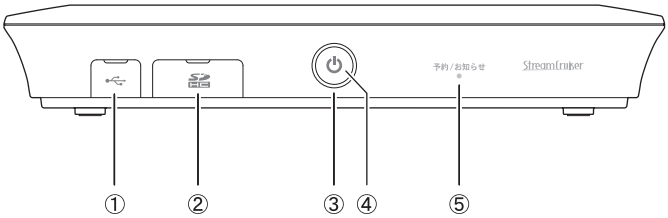
LANケーブル
（フラット型 10m）
1本

HDMI端子ケーブル
1本

取扱注意事項書
1冊

1-2 各部の名称と機能

1-2-1 前 面



名 称	機能説明
① USBポート	カバー内部に用意されています。 本商品に対応したUSB機器を接続します。
② SDカード スロット	カバー内部に用意されています。 本商品に対応したSDカードを挿入します。
③ 電源スイッチ	STB電源をオン/オフします。(☞ p. 40)
④ 電源ランプ	本商品の状態を表示します。(☞ p. 19)
⑤ 予約/お知らせ ランプ	本商品の状態を表示します。(☞ p. 19)

お願い! ・本商品に対応した USB 機器、SD カード以外は、接続しないでください。

・USB機器、SDカードの利用方法については、裏表紙に記載の弊社ホームページをご覧ください。

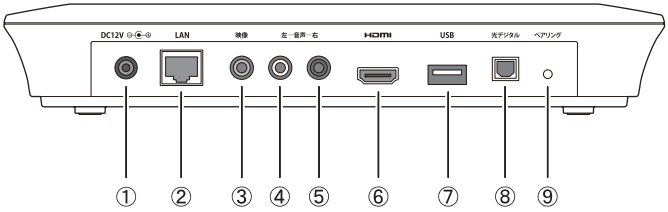
電源ランプ/予約/お知らせランプ

名称	ランプの表示		機能説明
電源ランプ	ー	消灯	主電源オフ状態です。 (コンセントに接続されていません)
	緑色	点灯	通常状態です。
	白色	点滅	初期化中です。
	赤色	点灯	STB電源オフ(スリープ)状態です。
		点滅	ファームウェア更新準備中です。
	橙色	点灯	STB電源オフ(スタンバイ)状態です。
	赤色 /橙色	交互 点滅	ファームウェア更新中です。
	桃色	点灯	起動中です。
		点滅	機器故障/通信エラーが発生しています。 裏表紙に記載の弊社サポート窓口までお問い合わせください。
予約/お知らせランプ	ー	消灯	予約、お知らせはありません。
	青色	点灯	予約があります。
	緑色	点灯	お知らせがあります。 予約がある場合でも、お知らせの通知が優先されます。
	白色	点滅	リモコン認証中です。
	赤色	点灯	初期化に失敗しました。
	橙色	点灯	DLNAアップロード配信中です。
		点滅	USBハードディスクを初期化中です。
	桃色	点灯	USBハードディスクが満杯です。 (録画領域なし)
		点滅	機器故障が発生しています。 裏表紙に記載の弊社サポート窓口までお問い合わせください。

お願い! 電源ランプが赤色点滅、または赤/橙色で交互点滅しているときは、ファームウェアの更新中です。本商品の STB 電源をオフにしたり、AC アダプタのコードを抜いたりしないでください。(☞ p.108)

Memo 予約/お知らせランプは、予約とお知らせの両方がある場合は、緑色点灯となります。

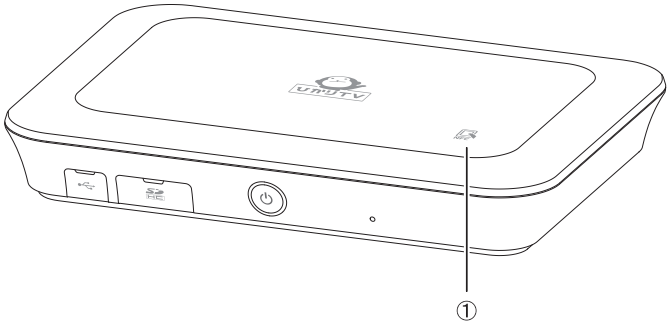
1-2-2 背 面



名 称	表 示	機能説明
① 電源端子	DC12V	付属のACアダプタを接続します。
② ネットワーク接続ポート	LAN	ネットワーク接続機器(ひかり電話ルーター、またはひかり電話対応機器など)と本商品を、付属のLANケーブルで接続します。
③ 映像出力端子	映像 (黄色)	映像信号を出力します。 コンポジット入力端子を持つテレビと本商品を、市販のAVケーブルで接続します。
④ ステレオ音声出力端子(左)	音声-左 (白色)	ステレオ音声信号(左-アナログ)を出力します。 音声入力端子を持つテレビと本商品を、市販のAVケーブルで接続します。
⑤ ステレオ音声出力端子(右)	音声-右 (赤色)	ステレオ音声信号(右-アナログ)を出力します。 音声入力端子を持つテレビと本商品を、市販のAVケーブルで接続します。
⑥ HDMI出力端子	HDMI	映像/音声信号を出力します。 HDMI入力端子を持つテレビと本商品を、付属のHDMI端子ケーブルで接続します。
⑦ USBポート	USB	本商品に対応したUSB機器を接続します。
⑧ 光デジタル音声出力端子	光デジタル	音声信号(デジタル)を出力します。 光デジタル音声入力端子を持つ機器と本商品を、市販の光デジタル端子ケーブル(角型端子)で接続します。
⑨ ペアリングボタン	ペアリング	リモコンの交換を行ったとき、新しいリモコンとのペアリングに使用します。 (☞ p.41)

Memo 本商品に接続できるネットワーク接続機器については、裏表紙に記載の弊社サポート窓口までお問い合わせください。

1-2-3 上 面



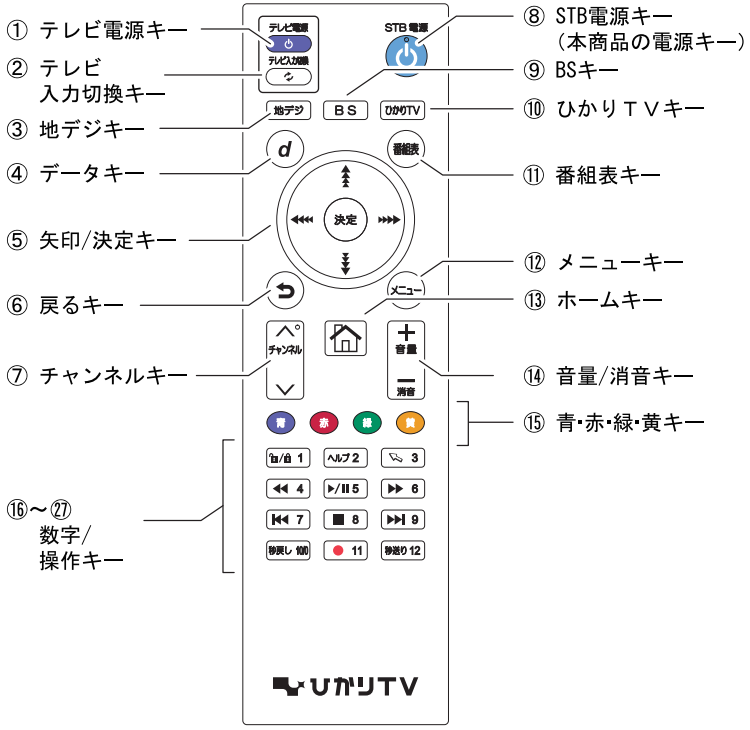
名 称	表 示	機能説明
① RFIDタグ	NFC	スマートフォンなどのNFC機能が搭載された機器をかざして利用します。

Memo RFID タグの利用方法や対応機器については、裏表紙に記載の弊社ホームページをご覧ください。

1-3　リモコンの操作方法

リモコンについて説明します。
ボタンの機能は、表示されている画面に応じて変わります。

1-3-1　リモコンのキー名称と機能



Memo　各ボタンの機能は、次のページをご覧ください。
- 本商品のリモコンでテレビを操作する（☞ p. 42）
- 本商品の設定で使用するリモコンキー（☞ p. 55）

名 称	ボタン	機能説明
① テレビ 電源キー		テレビの電源をオン/オフします。
② テレビ入力 切換キー		テレビの入力を切り換えます。
③ 地デジキー		地上デジタル放送に切り換えます。
④ データキー		[データ放送]画面を表示します。
⑤ 矢印/ 決定キー		カーソルや選択枠を移動し、選択された項目や内容を決定します。 ※マウスモードのときは、マウスポインタを移動します。(☞ p. 26)
⑥ 戻るキー		1つ前の画面に戻ります。
⑦ チャンネル キー		テレビの放送チャンネルを変更します。
⑧ STB電源キー		STB電源をオン/オフします。(☞ p. 40)
⑨ BSキー		BSデジタル放送に切り換えます。
⑩ ひかりＴＶ キー		テレビサービスに切り換えます。
⑪ 番組表キー		番組表を表示します。
⑫ メニュー キー		メニューを表示します。
⑬ ホームキー		[ホーム]画面を表示します。
⑭ 音量/消音 キー		テレビの音量を変更します。 －を長押しすると、消音します。消音中に＋を押すと、消音前の音量に戻ります。

Memo リモコンの[テレビ電源キー]、[テレビ入力切換キー]、[音量キー]は、テレビを操作するボタンです。(☞ p. 42)

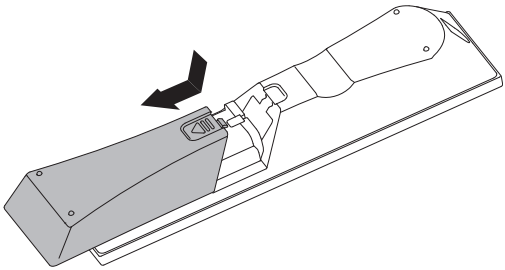
名 称	ボタン	機能説明
⑮ 青・赤・緑・黄キー		それぞれの画面に表示された動作をします。
⑯ ～ ㉗ 数字キー	1 ～ 秒送り 12	地デジ/BS放送を視聴中は、チャンネルを切り換えます。 設定画面などでは、数字を入力します。 ※[秒戻し10/0]ボタンを押すと、10または0が入力できます。
⑯ シークレットキー	1	シークレットモードを設定/解除します。 シークレットモードを設定にするためには暗証番号の入力が必要となります。(☞ p. 97)
⑰ ヘルプキー	ヘルプ 2	機能拡張用のため、ご利用いただけません。
⑱ モード切換キー	3	長押しすると、マウスモードに切り換えます。 マウスモードにすると、リモコンの[矢印キー]を使って画面上のマウスカーソルを操作できます。 通常のリモコン操作に戻すには、もう一度長押しします。(☞ p. 26) ※視聴中にモード切り換えのお願いメッセージが表示されたら、マウスモード、または通常のリモコン操作モードに変更してください。 初期状態では、通常のリモコン操作モードになっています。
⑲ 早戻しキー	4	ビデオ映像を早戻しします。
⑳ 再生/一時停止キー	5	ビデオ映像を開始/一時停止します。
㉑ 早送りキー	6	ビデオ映像を早送りします。
㉒ チャプター戻しキー	7	1つ前のチャプターに移動します。 ※チャプターとは、映像の区切りのことです。
㉓ 停止キー	8	再生を停止します。
㉔ チャプター送りキー	9	次のチャプターに移動します。 ※チャプターとは、映像の区切りのことです。
㉕ 秒戻しキー	秒戻し 100	押すごとに、10秒ずつ早戻しします。
㉖ 録画キー	11	視聴中の番組を録画します。
㉗ 秒送りキー	秒送り 12	押すごとに、30秒ずつ早送りします。

1-3-2　電池の挿入

リモコンに電池(単 3 形電池)を挿入します。

Memo　リモコンに電池を入れただけでは、本商品で使えるようにはなりません。本商品でリモコンを使用するためには、リモコンの認証(ペアリング)が必要です。(☞ p. 41)

1 **リモコン背面の電池カバーを外します。**



2 **付属の電池を挿入します。**

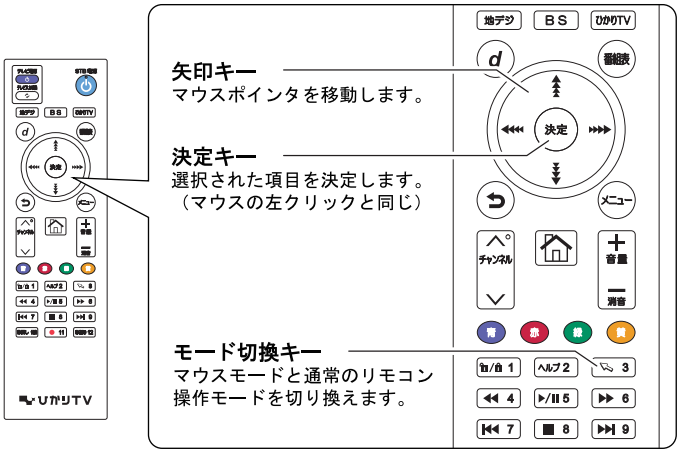
お願い!
- 電池収納部のイラストを参考にして、プラス(+)、マイナス(−)の向きを正しく差し込んでください。
- 電池を交換する際には、古い電池と混合せずに2本とも交換してください。また、異なる種類の電池を混用しないでください。

3 **電池カバーを取り付けます。**

1-3-3　マウスモードを利用する

マウスモードにすると、リモコンの[矢印キー]を使って画面上のマウスカーソルを操作できます。
操作中にモード切り換えのお願いメッセージが表示されたら、マウスモード、または通常のリモコン操作モードに変更してください。
初期状態は、通常のリモコン操作モードです。

Memo　本商品でリモコンを使用する前に、リモコン認証(ペアリング)を行ってください。(☞ p. 41)



1　**リモコンの[モード切換キー]を 3 秒以上長押しします。**

画面にマウスポインタが表示され、マウスモードに切り換わります。
・リモコンの[矢印キー]で、マウスカーソルが移動します。
・リモコンの[決定キー]で、決定(マウスの左クリックと同じ)します。

マウスモードを解除して通常のリモコン操作モードに戻すには、
もう一度リモコンの[モード切換キー]を 3 秒以上長押しします。

2 本商品の設置と接続

本商品を設置・接続して、使用できるようにします。

2-1 本商品の設置

本商品は、横置きおよび縦置きに対応しています。
お客様の環境に合わせて、設置してください。

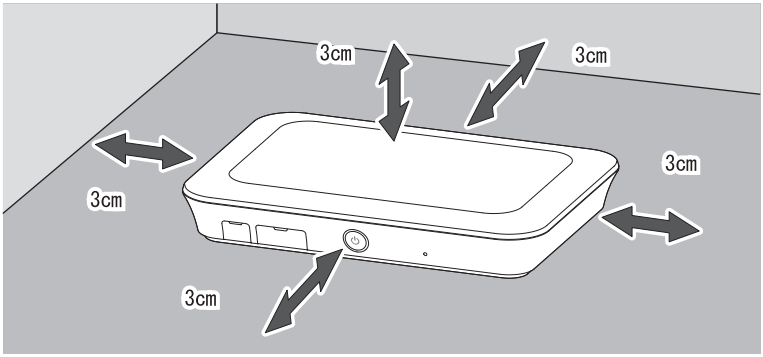
⚠ 注意
本商品の上に USB ハードディスクなどの物を置いたり、 テレビチューナ、DVD プレーヤ、ハードディスクレコーダ、ゲーム機、 パソコンなどの発熱する機器の上に設置したりしないでください。

お願い! 本商品を横置きに設置すると、本商品の下部が熱くなることがあります。
本商品の下部やその下の台をさわらないように注意してください。
本商品下部の温度上昇を防止されたいお客様は、本商品を縦置きに設置されることをお勧めします。

2-1-1 横置きで設置

1 天面が上になるようにして、安定した水平な所に横置きで設置します。

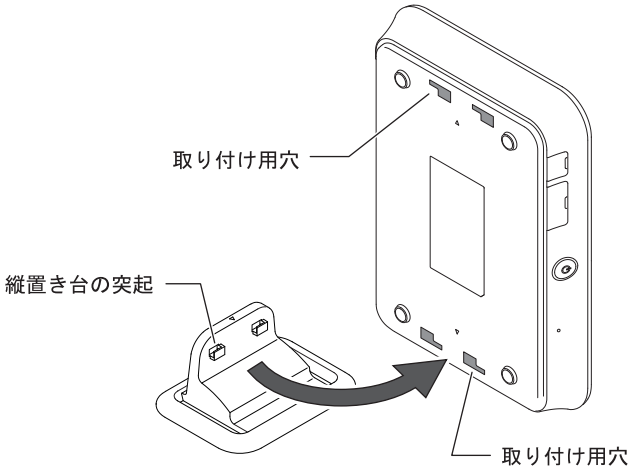
本商品の設置面以外は 3cm 以上の空間を作るようにしてください。



2-1-2　縦置きで設置

1 **付属の縦置き台を、本商品底面に取り付けます。**

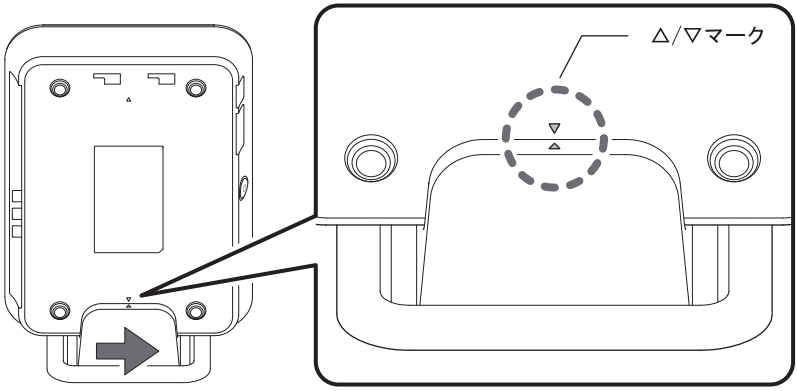
縦置き台の突起を、本商品底面の取り付け用穴に挿入してください。



設置場所に応じて、左右の取り付け用穴を利用できます。

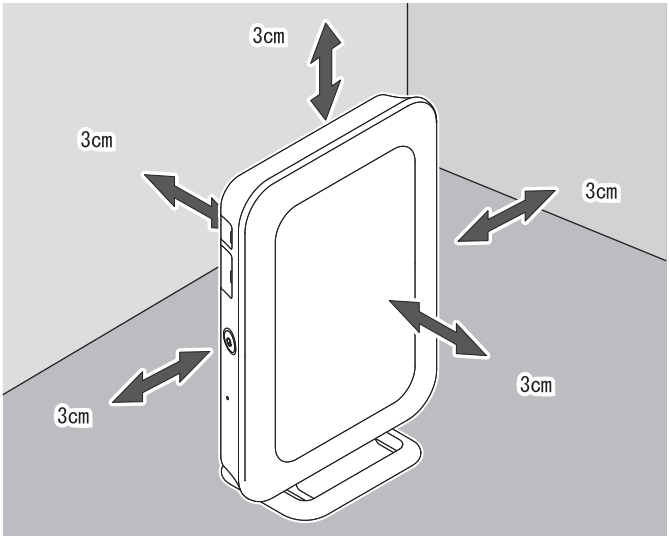
2 **縦置き台をスライドさせ、固定します。**

縦置き台と本商品底面の△マークを合わせてください。



3 安定した水平な場所に設置します。

本商品の設置面以外は 3cm 以上の空間を作るようにしてください。



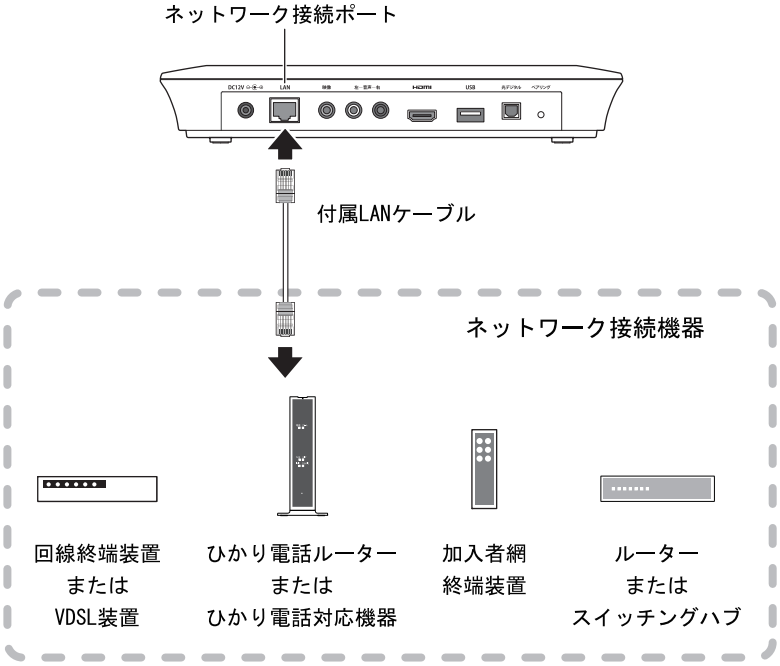
2-2　本商品の接続

本商品と各周辺機器を接続します。

お願い!　接続時には各ケーブルのコネクタ部の向きに注意してください。
無理に接続しようとすると破損する恐れがあります。

2-2-1　接続手順

1　本商品のネットワーク接続ポートとネットワーク接続機器を、付属 LAN ケーブルで接続します。



Memo
- ネットワーク接続機器は、ご利用になるサービスや地域によって異なります。ご利用のサービス内容を確認してネットワーク接続機器に接続してください。
- 本商品に接続できるネットワーク接続機器については、裏表紙に記載の弊社サポート窓口までお問い合わせください。

2 本商品の映像出力端子とテレビの映像入力端子を接続します。

ご利用の形態に応じて映像ケーブルを接続してください。

- **付属 HDMI 端子ケーブルによる接続**（☞ p.32）
- **AV ケーブルによる接続**（☞ p.33）

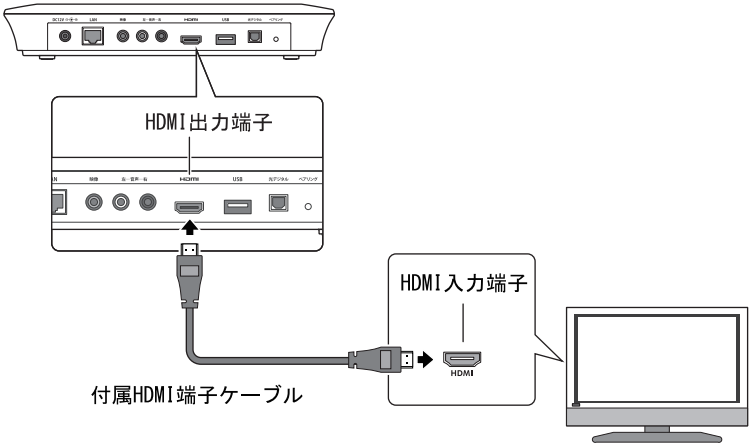
お願い！ 本商品を、ビデオデッキなどを経由してテレビに接続し、コピーガード仕様の放送やビデオコンテンツを視聴すると、映像が乱れることがあります。
その場合は、本商品の映像・音声の出力を直接テレビに接続してください。
コピーガード仕様の番組およびビデオコンテンツは著作権保護のために「視聴すること」のみ許諾されており、著作権者による文章に明示された許諾がない限り、複製およびその複製物の再生はできません。

Memo ハイビジョン映像を楽しむには、本商品とハイビジョン対応テレビをHDMI端子ケーブルで接続してください。

付属 HDMI 端子ケーブルによる接続

付属の HDMI 端子ケーブルを使い、HDMI 端子入力対応のテレビと接続してください。

Memo HDMI端子ケーブルは映像データと音声データを同時に出力できます。
別途音声接続をする必要はありません。

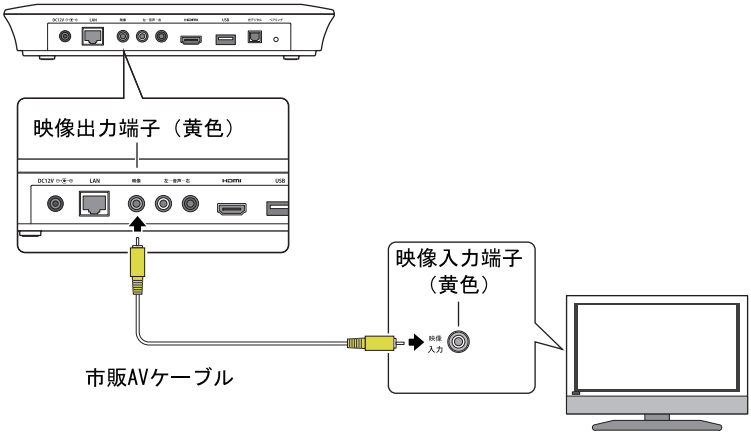


お願い!
- ・HDMI端子ケーブルの接続方向には向きがあります。誤った向きのまま無理に接続しようとすると、HDMI出力端子が破損する恐れがあります。
- ・STB電源をオンにした状態でHDMI端子ケーブルを抜き差ししないでください。
- ・テレビの電源をオンにしたあとに本商品のSTB電源をオンにしてください。先に本商品のSTB電源をオンにすると、映像が映らなくなったり、正しく映らなかったりする場合があります。

Memo 本商品のHDMI出力端子は、テレビなどのHDMI入力端子と接続できます。
ただし、お使いのHDMI入力対応機器によっては、映像が正常に映らない場合があります。
DVIデジタル入力端子と接続したときは、正常な映像が表示されない、または、映像自体が映らない場合があります。

AV ケーブルによる接続

市販の AV ケーブルの端子色と、本商品およびテレビの端子色を合わせて接続してください。



3 本商品の音声出力端子とテレビの音声入力端子を接続します。

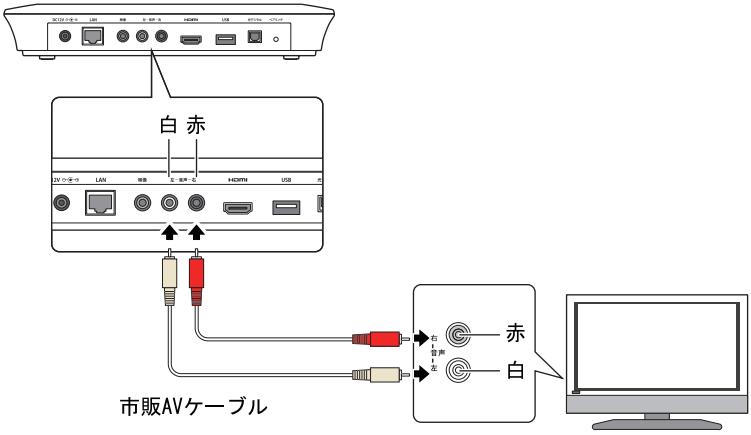
ご利用の形態に応じて音声ケーブルを接続してください。

- **AV ケーブルによる接続**（☞ p.34）
- **光デジタル端子ケーブルによる接続**（☞ p.35）

Memo HDMI端子ケーブルをご使用される場合は、この手順は必要ありません。

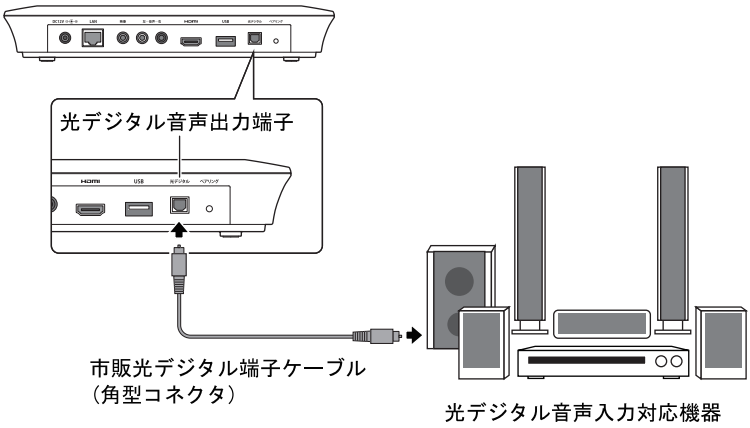
AV ケーブルによる接続

市販の AV ケーブルの端子色と、本商品およびテレビの端子色を合わせて接続してください。



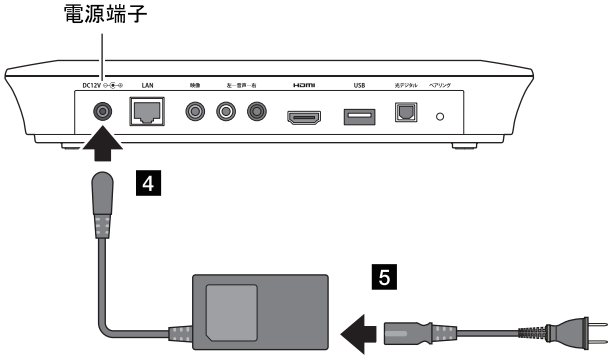
光デジタル端子ケーブルによる接続

市販の光デジタル端子ケーブル(角型コネクタ)で、本商品と光デジタル音声入力対応機器を接続してください。



お願い! 光デジタル端子ケーブルの接続方向には向きがあります。
誤った向きのまま無理に接続しようとすると、光デジタル音声出力端子が破損する恐れがあります。

4 本商品の電源端子に、AC アダプタのプラグを接続します。



⚠ 警告
AC アダプタおよび AC コードは、必ず付属のものを使用してください。 それ以外のものを使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

5 AC アダプタ本体に、AC アダプタのコードを接続します。

ここでは、AC アダプタのコードは電源コンセントに接続せず、抜いたままにしておいてください。
「2-3 電源をオンにする」(☞ p. 39)で、AC アダプタのコードを接続します。

2-2-2 USB ハードディスクの接続手順

本商品に USB ハードディスクを接続することで、次の番組を録画できます。(☞ p. 89)

- テレビサービス
- 地上デジタル放送
- BS デジタル放送

Memo

・本商品に接続した USB ハードディスクへ、次の番組は録画できません。

- 録画禁止の番組
- ビデオサービス(NHK オンデマンドを含む)
- カラオケサービス
- 当社が録画禁止と指定するもの

また、USB ハードディスクに録画した番組を別の USB ハードディスクや、DVD などのメディアにコピー/移動することはできません。

・本商品にて USB ハードディスクをご利用になるには、初めにご利用の ST-3200(本商品)にてフォーマットする必要があります。(☞ p. 89)

お願い!

・USB ハードディスクは「3 ひかりＴＶサービスご利用の準備」(☞ p. 44)が終了してから接続してください。

・本商品に初めて USB ハードディスクを接続した場合は、必ず「USB ハードディスク接続設定」(☞ p. 89)を操作してフォーマットと認証を行ってください。

・USB ハードディスクを本商品に接続してフォーマットを実行すると、USB ハードディスクに保存されているデータはすべて消去されます。
必要なデータについてはあらかじめ他のメディアなどへの移動を行ってください。

・USB ハードディスクを取り外すときは、本商品の主電源をオフにしてから取り外すか、[USB ハードディスク取り外し]画面から取り外してください。(☞ p. 92)

・本商品が USB ハードディスクへアクセス中は、USB ハードディスクを取り外したり、USB ハードディスクや本商品の主電源をオフにしたりしないでください。

・本商品でフォーマットした USB ハードディスクは、パソコンなど他の機器では利用できません。本商品専用の録画用ハードディスクとしてご利用ください。

1 USB ポートに USB ケーブルを接続します。

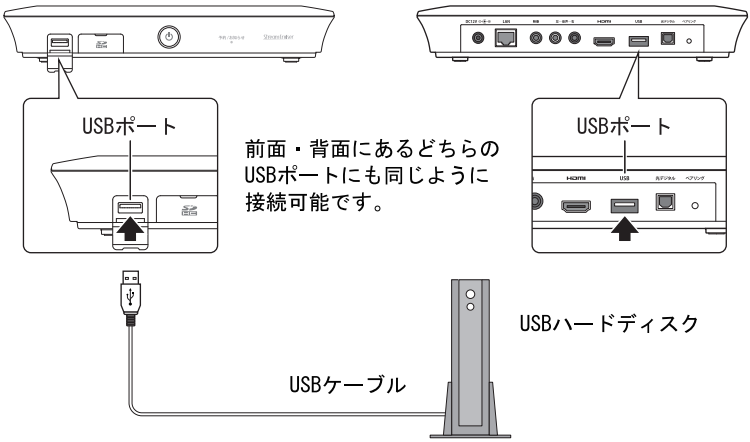
本商品の前面・背面にあるどちらの USB ポートにも、同じように接続可能です。

お願い!

・USBケーブルの接続方向には向きがあります。誤った向きのまま無理に接続しようとすると、USB端子が破損する恐れがあります。

・USB-HUBなどを経由して本商品とUSBハードディスクを接続しないでください。

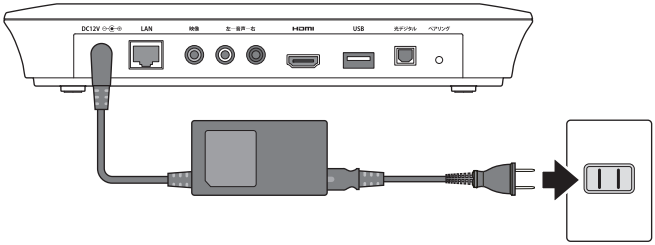
・USBハードディスクを2台以上同時に接続することはできません。



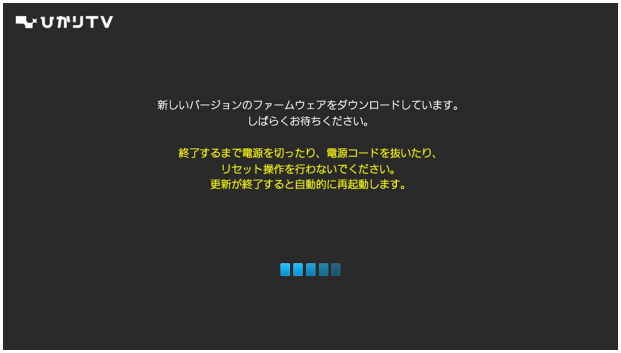
2-3　電源をオンにする

AC アダプタを電源コンセントに接続して、本商品の主電源をオンにします。

1 **AC アダプタのコードを電源コンセントに接続します。**



本商品が起動します。起動画面が表示され、自動的にファームウェア更新の確認が始まります。(☞ p. 108)
起動が完了するまで、しばらくお待ちください。



Memo
- ファームウェア更新中は、電源ランプが点滅(赤色)、もしくは反転(赤/橙色)します。
- ファームウェア更新には、約20分かかります。
- ご利用の状態によっては、ファームウェア更新が実行されない場合があります。

⚠ 注意
電源ランプが点滅状態(赤/橙色)のときには、主電源をオフにしたり、AC アダプタのコードを抜いたりしないでください。 本商品が正常に起動しなくなる恐れがあります。

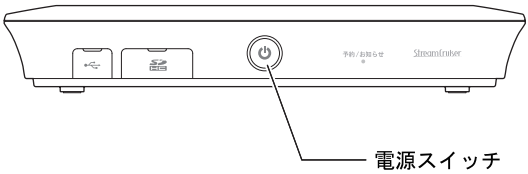
お願い! 本商品が正常に動作しない場合は、「6-1 故障かなと思ったら」(☞ p. 104)で故障の内容を確認してください。
それでも解決できないときは、裏表紙に記載の弊社サポート窓口までご連絡ください。(☞ p. 118)

2 電源ランプが、橙色または赤色の「点灯」状態になるまで待ちます。

起動が完了すると、電源ランプが橙色または赤色の「**点灯**」状態になります。

起動が完了したら、次の手順に進みます。

3 前面にある電源スイッチを押して、本商品の STB 電源をオンにします。



本商品の STB 電源がオンになり、[リモコン認証]画面が表示されます。

次ページの「2-4 リモコン認証を行う」(☞ p. 41)に進んでください。

Memo 本商品の電源には、「主電源」と「STB 電源」の 2 種類があります。

- **主電源**
  AC アダプタ（電源コンセント）が接続され、本商品に電気が供給されている状態です。
  主電源をオン/オフするには、AC アダプタ（電源コンセント）を接続したり、取り外したりします。(☞ p. 36、39)
- **STB 電源**
  本商品の電源状態です。
  STB 電源をオン/オフするには、本商品前面の電源スイッチ、またはリモコンの[STB 電源キー]を押します。(☞ p. 18、23)

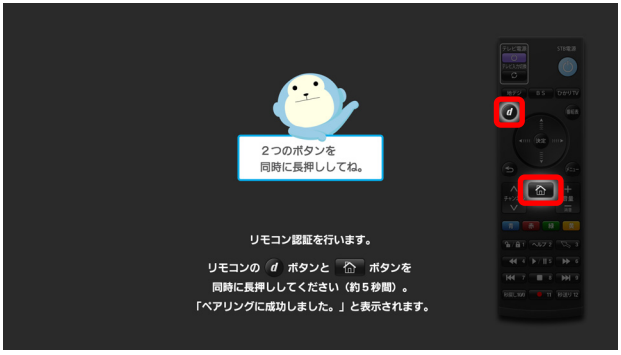
  STB 電源をオフにすると、本商品はスタンバイ状態になり、しばらくするとスリープ状態になります。
  - STB 電源オン ····· 映像・音声を出力します。
  - STB 電源オフ
    スタンバイ ····· 映像・音声の出力を停止します。
    スリープ ····· 省電力待機状態に入ります。

2-4　リモコン認証を行う

付属のリモコンと本商品を認証（ペアリング）し、使用できるようにします。

1 **リモコンの[データキー]と[ホームキー]を同時に長押しします。**

リモコンの認証中は予約/お知らせランプが点滅（白色）します。



認証が終了すると、[リモコン認証完了]画面が表示されます。

リモコンが認証されました。次に、初期設定に進みます。（☞ p. 45）

Memo

・[エラー]画面が表示されたときは、画面の案内にしたがって、もう一度リモコンのボタンを押してください。

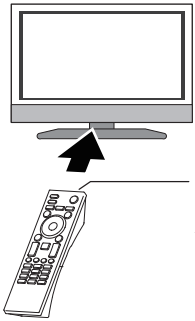
・リモコンの交換を行ったときは、本商品の背面にあるペアリングボタンを軽く押したあと、リモコンの[データキー]と[ホームキー]を同時に長押しして、新しいリモコンを登録します。

2-5　本商品のリモコンでテレビを操作する

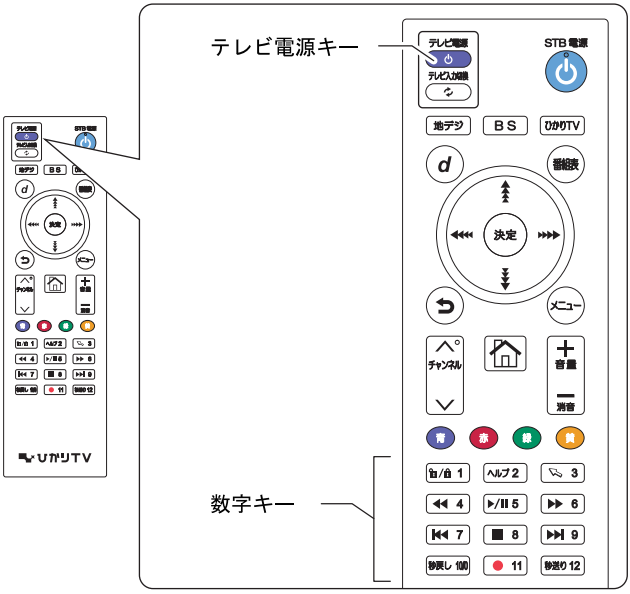
本商品に付属のリモコンで、テレビを操作できるように設定します。

1 **テレビの電源をオンにします。**

2 **本商品のリモコンを使い、リモコンの先端をテレビのリモコン受光部に向けて信号を登録します。**



［テレビ電源キー］を押しながら、3 桁の番号を［数字キー］で入力します。



キー操作は次ページの表を参照し、ご使用されているテレビメーカーに合わせて登録してください。

テレビメーカー	キー操作
パナソニック１	テレビ電源 ＋ 秒戻し 100 ⇒ 1 ⇒ 1
パナソニック２	テレビ電源 ＋ 秒戻し 100 ⇒ 1 ⇒ ヘルプ 2
ソニー	テレビ電源 ＋ 秒戻し 100 ⇒ ヘルプ 2 ⇒ 1
シャープ１	テレビ電源 ＋ 秒戻し 100 ⇒ 3 ⇒ 1
シャープ２	テレビ電源 ＋ 秒戻し 100 ⇒ 3 ⇒ ヘルプ 2
東芝	テレビ電源 ＋ 秒戻し 100 ⇒ ◀◀ 4 ⇒ 1
日立	テレビ電源 ＋ 秒戻し 100 ⇒ ▶/II 5 ⇒ 1
ビクター	テレビ電源 ＋ 秒戻し 100 ⇒ ▶▶ 6 ⇒ 1
三菱２	テレビ電源 ＋ 秒戻し 100 ⇒ ⏮ 7 ⇒ ヘルプ 2
パイオニア	テレビ電源 ＋ 秒戻し 100 ⇒ ■ 8 ⇒ 1
三洋１	テレビ電源 ＋ 1 ⇒ 秒戻し 100 ⇒ 1
三洋２	テレビ電源 ＋ 1 ⇒ 秒戻し 100 ⇒ ヘルプ 2
フナイ１	テレビ電源 ＋ 1 ⇒ 1 ⇒ 1
富士通ゼネラル	テレビ電源 ＋ 1 ⇒ ヘルプ 2 ⇒ 1
アイワ１	テレビ電源 ＋ 1 ⇒ 3 ⇒ 1

Memo

・同じメーカーで複数の番号がある場合は、正しく操作できる番号に設定してください。

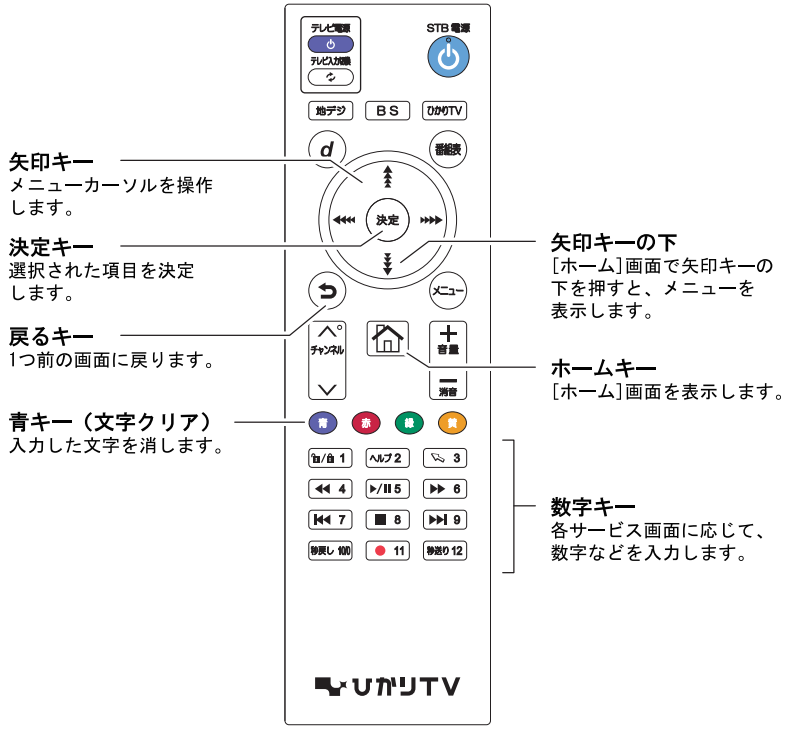
・お使いのテレビによっては本商品付属のリモコンで操作できない場合があります。その場合は、テレビのリモコンをお使いください。

3 ひかりTVサービスご利用の準備

本章では、ひかりＴＶサービスを利用するまでの準備について説明します。
事前にフレッツ光とひかりＴＶサービスの申し込みを行い、サービス開始時に郵送されるご案内をそれぞれご用意ください。

3-1 ひかりTVサービスご利用の準備で使用するリモコンキー

本章では、次のリモコンキーを使用します。
表示される画面により、キーの機能が変わります。



矢印キー
メニューカーソルを操作します。

決定キー
選択された項目を決定します。

戻るキー
1つ前の画面に戻ります。

青キー（文字クリア）
入力した文字を消します。

矢印キーの下
[ホーム]画面で矢印キーの下を押すと、メニューを表示します。

ホームキー
[ホーム]画面を表示します。

数字キー
各サービス画面に応じて、数字などを入力します。

3-2　初期設定

初めて本商品の STB 電源をオンにすると、初期設定画面が表示されます。
次の手順で初期設定します。

Memo
- 初期設定の前に、リモコン認証(ペアリング)を行ってください。(☞ p. 41)
- お客様のご利用状況により、手順 1～5 の画面が表示されないことがあります。そのときは、手順 6 に進んでください。

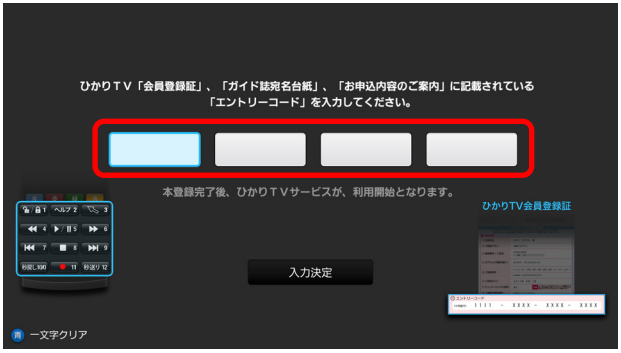
1 **リモコンの[決定キー]を押します。**

[エントリーコードの入力]画面が表示されます。

2 16 桁の「エントリーコード」を、リモコンの[数字キー]で入力します。

Memo
- エントリーコードは、株式会社NTTぷららよりお送りしている「ひかりＴＶ会員登録証」、またはNTTコミュニケーションズ(ひかりＴＶ for OCN)よりお送りしている「ひかりＴＶ(お申し込みのご案内)」などに記載されています。
- ご契約のプロバイダーによっては、Webサイトやメールで、エントリーコードをご確認いただけます。

入力項目を移動するときは、リモコンの[矢印キー]の左右を押します。
入力した数字を取り消すときは、リモコンの[青キー]を押します。



3 [入力決定]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

[回線情報の入力]画面が表示されます。

4 **「開通のご案内」、「お申し込み内容のご案内」などに記載されている ID を、リモコンの[数字キー]で入力します。**

Memo 「開通のご案内」、「お申し込み内容のご案内」は、NTT東日本またはNTT西日本より送付されます。

・フレッツ 光ネクストをご利用のお客様

NTT 東日本よりお送りしている『開通のご案内』、もしくは NTT 西日本よりお送りしている『お申し込み内容のご案内』に記載の CAF+10 桁の数字をご参照のうえ、入力してください。

・NTT 東日本エリアでＢフレッツをご利用のお客様

『開通のご案内』に記載の COP+8 桁の数字をご参照のうえ、入力してください。

・NTT 西日本エリアでフレッツ・光プレミアム、
またはBフレッツとフレッツ・v6 アプリをご利用のお客様

『お申し込み内容のご案内』に記載の S+10 桁の数字(Sub No.)をご参照のうえ、入力してください。

5 [入力決定]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

[初期設定の完了]画面が表示されます。

Memo フレッツサービスのお申し込みがお済みでないお客様は、次のお問い合わせ先から確認ください。

-お電話 0120-116116
-ホームページ
NTT 東日本エリア http://www.flets.com/
NTT 西日本エリア http://flets-w.com/

6 [確認]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

正常に登録が終了すると、[ホーム]画面が表示されます。

Memo

- [ホーム]画面が表示されるまでに数分間かかる場合があります。
  エラー画面が表示された場合は、画面の案内にしたがってください。
- 初期設定のあとテレビサービスがご利用いただけるまで、次の時間がかかります。
  - NTT東日本エリア在住のお客様は1時間程度
  - NTT西日本エリア在住のお客様は24時間以内
    (NTT西日本エリアでフレッツ光ネクスト回線をご利用の場合は1時間程度)

  しばらくお待ちいただき、再度リモコンの[ホームキー]を押してご確認ください。
  なおビデオサービスはすぐにご利用いただけます。
- 視聴年齢が制限されている作品は、シークレットモードのときのみ表示するように設定しておくことをおすすめします。
  (☞ p. 98)

これで初期設定は終了です。

地上デジタル放送/BS デジタル放送の提供エリアのお客様は、引き続き、地上デジタル放送/BS デジタル放送の受信設定を行ってください。
(☞ p. 50)

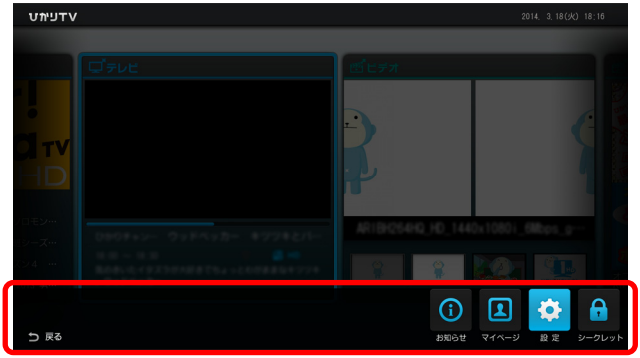
3-3　地上デジタル/BSデジタル放送の設定

地上デジタル放送/BS デジタル放送の受信設定をします。

Memo
・地上デジタル放送は、フレッツ 光ネクストをご利用で地上デジタル放送提供エリアのお客様のみご利用いただけます。
・BS デジタル放送は、BS デジタル放送提供エリアであれば、ご利用回線にかかわらずご利用いただけます。

1 [ホーム]画面で、リモコンの[矢印キー]の下を押します。

[ホーム]画面の下にメニューが表示されます。

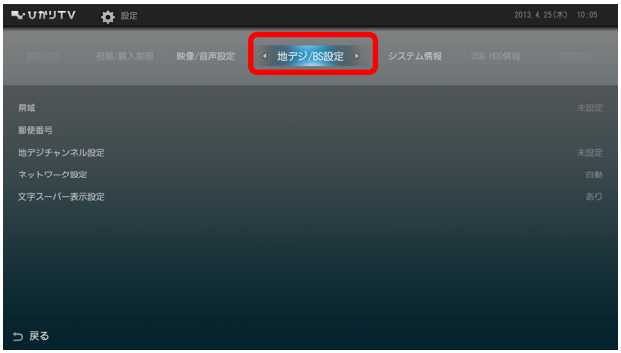


Memo　[ホーム]画面を表示するには、リモコンの[ホームキー]を押します。

2 リモコンの[矢印キー]の左右を押してメニューから⚙を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

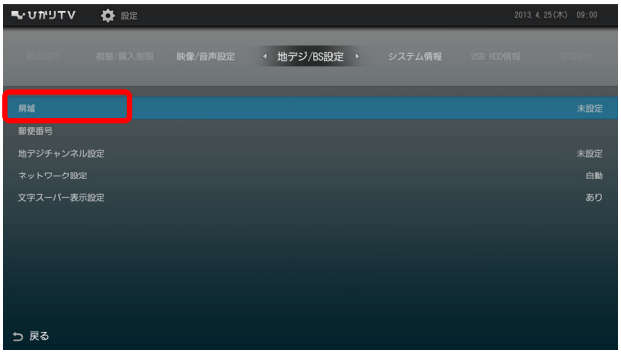
[設定]画面が表示されます。

3 **リモコンの[矢印キー]の左右を押して[地デジ/BS 設定]を選択します。**



[地デジ/BS 設定]画面が表示されます。

4 **リモコンの[矢印キー]の上下を押して[県域]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。**

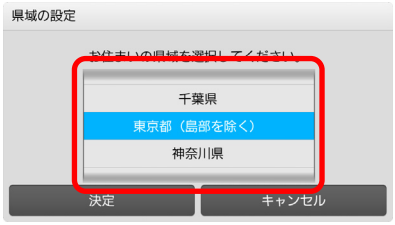


[県域の設定]画面が表示されます。

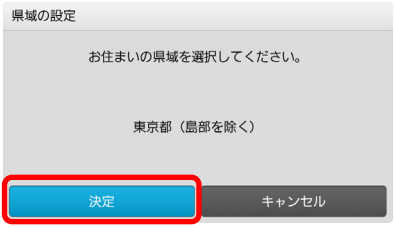
5 県域が選択されている状態で、リモコンの[決定キー]を押します。

県域選択リストが表示されます。

6 リモコンの[矢印キー]の上下で県域を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

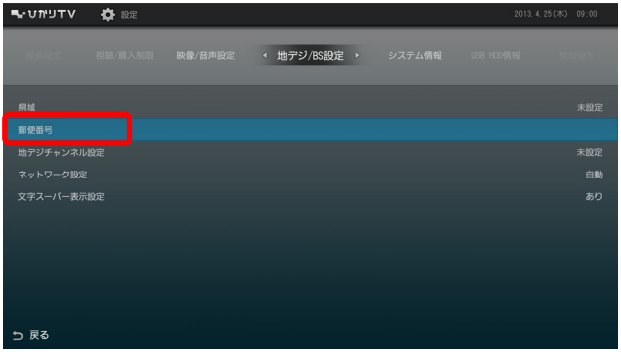


7 [決定]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。



県域を設定して、[地デジ/BS 設定]画面に戻ります。

8 **リモコンの[矢印キー]の上下を押して[郵便番号]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。**



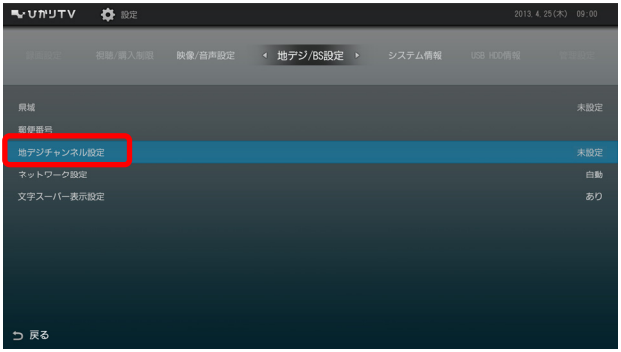
[郵便番号の設定]画面が表示されます。

9 **郵便番号をリモコンの[数字キー]で入力します。**

10 **[決定]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。**

郵便番号を設定して、[地デジ/BS 設定]画面に戻ります。

11 **リモコンの[矢印キー]の上下を押して[地デジチャンネル設定]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。**



[地デジチャンネルスキャン]画面が表示されます。

12 **[スキャン]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。**

地デジのチャンネルをスキャン(検索)します。
チャンネルの検索が終了したら、画面の内容を確認します。

Memo チャンネルのスキャン(検索)にはしばらく時間がかかります。
終了するまでしばらくお待ちください。

お願い! 地上デジタル放送の提供エリアについては、ひかりＴＶホームページ(http://www.hikaritv.net/point/chideji/)をご確認ください。

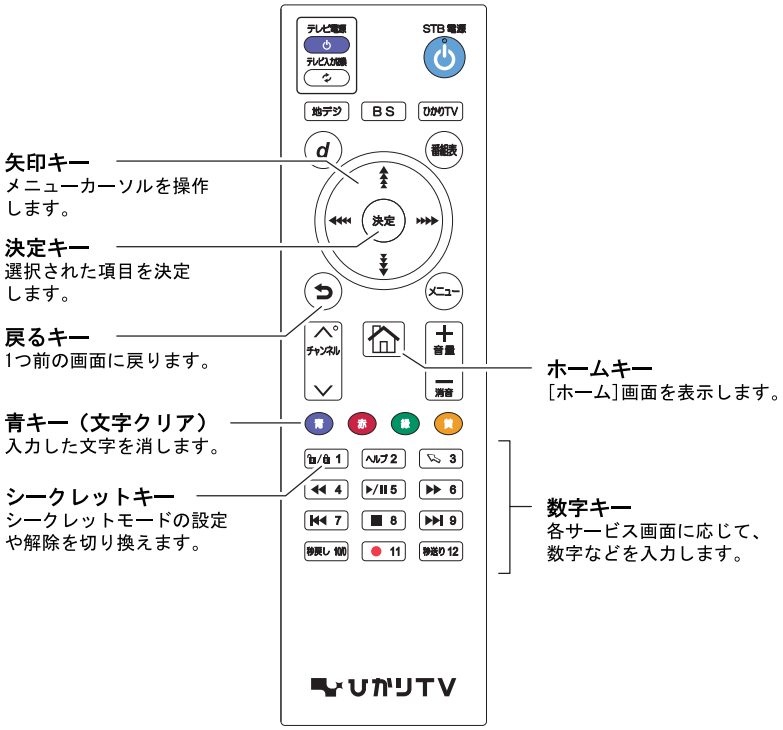
これで地上デジタル放送/BS デジタル放送の受信設定は終了です。

4 本商品の設定

本商品には、映像を視聴するための設定や、視聴を制御するための設定機能があります。本章では、各設定項目について説明します。

4-1 本商品の設定で使用するリモコンキー

本章では、次のリモコンキーを使用します。
表示される画面により、ボタンの機能が変わります。



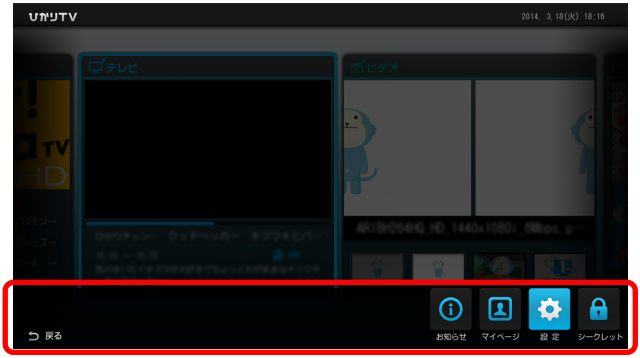
4-2　設定画面の基本操作

本商品の設定は、[設定]画面から操作します。
[設定]画面の操作方法と、画面内の各ボタンの説明は、次のとおりです。

1　本商品の STB 電源をオンにします。

2　[ホーム]画面で、リモコンの[矢印キー]の下を押します。

[ホーム]画面の下にメニューが表示されます。



3　リモコンの[矢印キー]の左右を押してメニューから ⚙ を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

[設定]画面が表示されます。

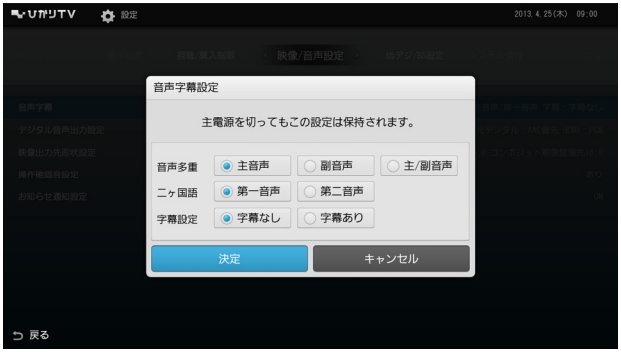
4 **リモコンの[矢印キー]の左右で変更したい設定を選択します。**

Memo 管理設定や視聴/購入制限設定を変更するときは、リモコンの[シークレットキー]を押して、シークレットモードに切り換えてください。
これらの設定項目は、シークレットモードのときのみ表示されます。

5 **リモコンの[矢印キー]の上下で変更したい項目を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。**

項目の[設定]画面が表示されます。

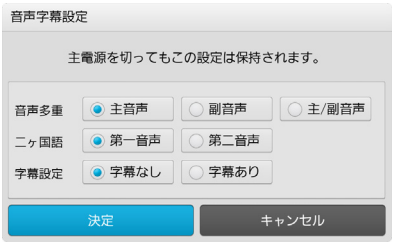
6 **リモコンの[矢印キー]で変更したい項目を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。**



設定内容が反映されます。

設定画面の共通操作

各項目の設定画面には共通のボタンが用意され、すべての設定画面で同じように操作できます。



- 決定
  設定画面の内容を反映します。
- キャンセル
  前画面に戻ります。

  お願い! 各画面で設定を変更(更新)された場合は、必ず 決定 を押してください。 決定 を押さずに、 キャンセル を押すと、設定が反映されずに前画面に戻ります。
- 戻る
  前画面に戻ります。

4-3 メニュー一覧

設定項目の一覧です。

■映像・音声設定

本商品の映像と音声に関する項目を設定します。(☞ p. 63)

項 目	設定内容	参 照
音声字幕	出力される音声と字幕表示を設定します。	p. 64
デジタル音声出力設定	デジタル音声出力を設定します。	p. 65
映像出力先形状設定	映像の解像度と画面サイズを設定します。	p. 66
HDMI-CEC 設定	CEC 機能の有効/無効を設定します。	p. 67
番組表ジャンル色分け設定	番組表のジャンルでの色分けあり/なしを設定します。	p. 67
操作確認音設定	リモコンを操作したときの確認音を設定します。	p. 68
ビデオ未視聴アイコン表示設定	ビデオ未視聴アイコンの表示の有無を設定します。	p. 68

■地デジ・BS 設定

地上デジタル放送/BS デジタル放送の受信に関する項目を設定します。
(☞ p. 69)

項 目	設定内容	参 照
県域	お住まいの県域を設定します。	p. 70
郵便番号	お住まいの地域の郵便番号を設定します。	p. 70
地デジチャンネル設定	地上デジタル放送のチャンネルを設定します。	p. 71
ネットワーク設定	双方向サービスを利用するために必要なネットワーク設定をします。	p. 72
文字スーパー表示設定	文字スーパーの表示・非表示を設定します。	p. 73

■管理設定

本商品の回線登録情報の変更、または本商品の初期化を実行します。
(☞ p. 74)

項 目	設定内容	参 照
回線登録情報変更	初期設定で登録した回線登録情報を変更します。	p. 75
初期化	本商品の設定内容を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。	p. 76
再起動	本商品を再起動します。	p. 76

■リモート設定

リモート接続に関する項目を設定します。(☞ p. 77)

項 目	設定内容	参 照
リモート接続設定	パソコンや携帯電話からリモート録画・視聴予約などを行うための設定情報を表示します。	p. 78
リモート接続確認・解除	本商品とリモート接続設定をしているユーザーの確認と、接続の解除を行います。	p. 79
リモート予約同期設定	パソコンや携帯電話からリモート録画・視聴予約した予約情報の同期を設定します。	p. 80
エントリーコード表示	登録されているエントリーコードを表示します。	p. 80
りもこんプラス機能設定	りもこんプラス機能の有効・無効を設定します。	p. 81

■ホームサーバ機能

ホームサーバに関する項目を設定します。(☞ p. 82)

項 目	設定内容	参 照
ホームサーバ機能について	ホームサーバ機能についての説明を表示します。	p. 83
ホームサーバ機能	ホームサーバ機能の有効・無効を設定します。	p. 83
サーバ情報	ホームサーバの情報を表示します。	p. 84
アクセス制限	本商品へのアクセス制限を設定します。	p. 84
クライアント機器一覧(アクセス許可設定)	アクセス制限を設定したとき､本商品へのアクセスを許可する機器を設定します。	p. 85
配信年齢制限	視聴年齢制限がある番組について､クライアント機器への配信制限を設定します。	p. 86
ネットワーク設定	ホームサーバ機能を使うためのネットワークを設定します。	p. 87

■録画設定

録画に関する項目を設定します。(☞ p. 88)

項 目	設定内容	参 照
USB ハードディスク接続設定	本商品に接続している USB ハードディスクを認証して使えるようにします。	p. 89
USB ハードディスク取り外し	本商品に接続している USB ハードディスクを安全に取り外します。	p. 92
USB ハードディスクフォーマット	本商品に接続している USB ハードディスクをひかりＴＶ録画用にフォーマットします。	p. 93
自動削除設定	USB ハードディスクに録画されている番組の自動削除機能を設定します。	p. 93
USB ハードディスク省電力設定	本商品がスタンバイのとき、本商品に接続している USB ハードディスクの省電力機能を設定します。	p. 94
プレビュー再生設定	録画リスト画面でのプレビュー再生機能を設定します。	p. 95

■視聴・購入制限設定

本商品の視聴・購入制限に関する項目を設定します。(☞ p. 96)

項 目	設定内容	参 照
シークレットモード 暗証番号	シークレットモードで使用する暗証番号を設定します。	p. 97
シークレットモード 表示設定項目	シークレットモードのときに表示される項目を設定します。	p. 98
購入制限暗証番号	コンテンツを購入するときに使う購入制限暗証番号を設定します。	p. 99

■USB ハードディスク情報

本商品に接続している USB ハードディスクから取得した情報を表示します。(☞ p. 100)

■システム情報

本商品のシステム情報を表示します。(☞ p. 101)

■バージョン情報

本商品のバージョン情報を表示します。(☞ p. 102)

4-4　映像・音声設定

本商品の映像と音声に関する項目を設定します。

- ［音声字幕］
  出力される音声と字幕表示を設定します。（☞ p. 64）
- ［デジタル音声出力設定］
  デジタル音声出力を設定します。（☞ p. 65）
- ［映像出力先形状設定］
  映像の解像度と画面サイズを設定します。（☞ p. 66）
- ［HDMI-CEC 設定］
  CEC 機能の有効/無効を設定します。（☞ p. 67）
- ［番組表ジャンル色分け設定］
  番組表のジャンル色分けのあり/なしを設定します。（☞ p. 67）
- ［操作確認音設定］
  リモコンを操作したときの確認音を設定します。（☞ p. 68）
- ［ビデオ未視聴アイコン表示設定］
  ビデオ未視聴アイコンの表示の有無を設定します。（☞ p. 68）

4-4-1　音声字幕

出力される音声と字幕表示を設定します。

● ［音声多重］
主音声と副音声の出力を設定します。

● ［二ヶ国語］
第一音声と第二音声の出力を設定します。

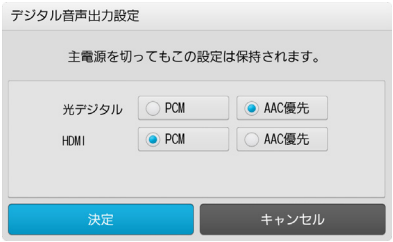
Memo　二ヶ国語放送では番組に2つの音声（第一音声と第二音声）が含まれています。
これら第一音声と第二音声のどちらの音声を出力するかを設定します。
さらに第一音声と第二音声それぞれに主音声/副音声が含まれます。

二ヶ国語放送の例
第一音声　：日本語放送（主音声：日本語、副音声：英語）
第二音声　：英語放送（主音声：英語、副音声：フランス語）

● ［字幕設定］
字幕の表示/非表示を設定します。

4-4-2　デジタル音声出力設定

デジタル音声出力を設定します。



● [光デジタル]
光デジタル音声出力端子から出力する音声方式を設定します。

● [HDMI]
HDMI 出力端子から出力する音声方式を設定します。

PCM　：PCM信号を出力します。

AAC優先　：ご覧いただいているサービスの音声がAAC方式の場合は、AAC信号を出力します。
それ以外はPCM信号を出力します。

お願い！　[AAC優先]はAAC方式に対応した機器(AVアンプなど)と接続した場合のみ、ご利用になれます。
AAC方式に対応していない機器と接続する場合は、[PCM]に設定してください。

Memo
- [PCM]では番組にかかわらず、常に2chで出力されます。
- [AAC優先]では番組に応じて、5.1chなどのサラウンド音声を楽しめます。
- 本商品付属のリモコン操作音、およびデータ放送の一部音声(効果音など)は[PCM]選択時のみ出力されます。
- AAC信号を出力しているときには、本商品で主音声・副音声の切り換えはできません。接続した機器側で操作してください。

4-4-3　映像出力先形状設定

映像の解像度と画面サイズを設定します。

● [解像度設定]
　出力する映像の解像度を設定します。
　AUTO(自動)、480p、1080i、1080p から選択してください。
● [TV 画面選択]
　画面サイズを設定します。
　AUTO(自動)、16:9、4:3 から選択してください。

Memo　[解像度設定]と[TV 画面選択]の初期値は[AUTO(自動)]です。

設定を変更する方法は、次のとおりです。

1 リモコンの[矢印キー]で[AUTO]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

カーソルが[AUTO]に移動します。

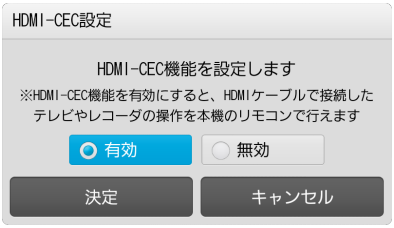
2 リモコンの[矢印キー]の左右で項目を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

値が変更されます。

[解像度設定]と[TV 画面選択]に戻るには、リモコンの[矢印キー]でカーソルを移動します。

4-4-4 HDMI-CEC 設定

HDMI-CEC 機能を設定します。



● [HDMI-CEC 設定]
HDMI-CEC 機能の有効/無効を設定します。

4-4-5 番組表ジャンル色分け設定

番組表のジャンル色分けを設定します。

● [番組表ジャンル色分け設定]
番組表のジャンル色分けのあり/なしを設定します。

4-4-6　操作確認音設定

リモコンを操作したときの確認音を設定します。

● ［操作確認音の設定］
　リモコン操作時の確認音あり/なしを設定します。

4-4-7　ビデオ未視聴アイコン表示設定

ビデオ未視聴アイコンの表示を設定します。

● ［ビデオ未視聴アイコンの表示設定］
　ビデオ未視聴アイコンの表示のあり/なしを設定します。

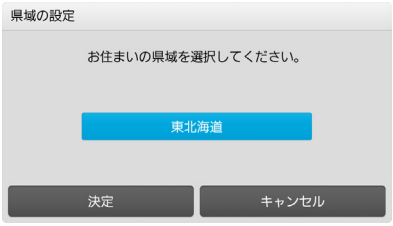
4-5　地デジ･BS設定

地上デジタル放送/BS デジタル放送の受信に関する項目を設定します。

- ［県域］
  お住まいの県域を設定します。(☞ p. 70)
- ［郵便番号］
  お住まいの地域の郵便番号を設定します。(☞ p. 70)
- ［地デジチャンネル設定］
  地上デジタル放送のチャンネルを設定します。(☞ p. 71)
- ［ネットワーク設定］
  双方向サービスを利用するために必要なネットワーク設定をします。(☞ p. 72)
- ［文字スーパー表示設定］
  文字スーパーの表示・非表示を設定します。(☞ p. 73)

4-5-1　県域

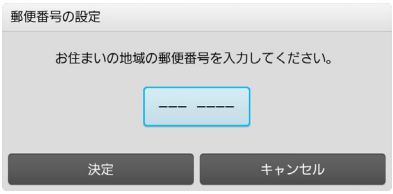
お住まいの県域を設定します。
地上デジタル放送/BS デジタル放送のデータ放送にて使用します。



● ［県域の設定］
県域名を選択してリモコンの[決定キー]を押すと、県域リストが表示されます。
リモコンの[矢印キー]の上下でお住まいの都道府県を選択してください。

4-5-2　郵便番号

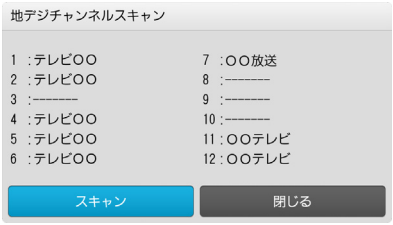
お住まいの地域の郵便番号を設定します。
地上デジタル放送/BS デジタル放送のデータ放送にて使用します。



● ［郵便番号の設定］
リモコンの[数字キー]でお住まいの地域の郵便番号を入力してください。

4-5-3　地デジチャンネル設定

地上デジタル放送のチャンネルを設定します。



● ［スキャン］
視聴できるチャンネルを検索します。

Memo　チャンネルの検索にはしばらく時間がかかります。
終了するまでしばらくお待ちください。

● ［閉じる］
前画面に戻ります。

4-5-4　ネットワーク設定

双方向サービスを利用するために必要なネットワーク設定をします。

Memo　ネットワーク設定には、インターネットが利用できるネットワーク接続機器が必要です。インターネットの設定についてはご利用のネットワーク接続機器をご確認ください。

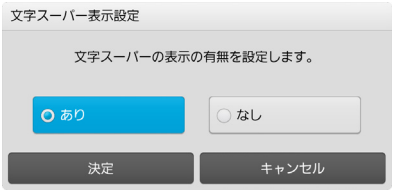
- ［IP アドレス取得方法］
  IP アドレスの取得方法を設定します。

  Memo　［自動］を選択すると画面内の項目はネットワークから自動で取得します。通常は［自動］に設定してください。
  ［手動］を選択した場合は、次の 5 つの項目に値を入力してください。

- ［IP アドレス］
  IP アドレスをリモコンの［数字キー］で入力します。
- ［サブネットマスク］
  サブネットマスクをリモコンの［数字キー］で入力します。
- ［デフォルトゲートウェイ］
  デフォルトゲートウェイの IP アドレスをリモコンの［数字キー］で入力します。
- ［優先 DNS サーバ］
  優先 DNS サーバの IP アドレスをリモコンの［数字キー］で入力します。
- ［代替 DNS サーバ］
  代替 DNS サーバの IP アドレスをリモコンの［数字キー］で入力します。

4-5-5　文字スーパー表示設定

文字スーパーの表示・非表示を設定します。

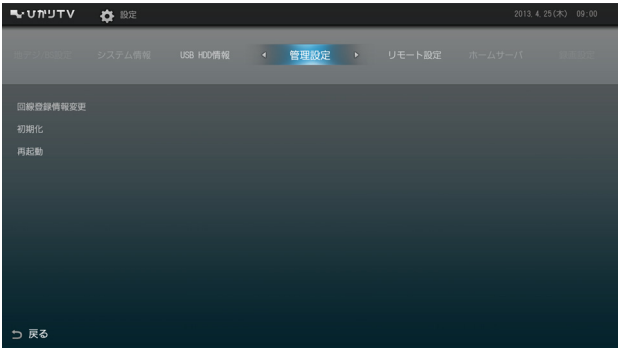


● ［文字スーパーの設定］
　文字スーパーの表示/非表示を設定します。

4-6 管理設定

本商品の回線登録情報の変更、または本商品の初期化を実行します。

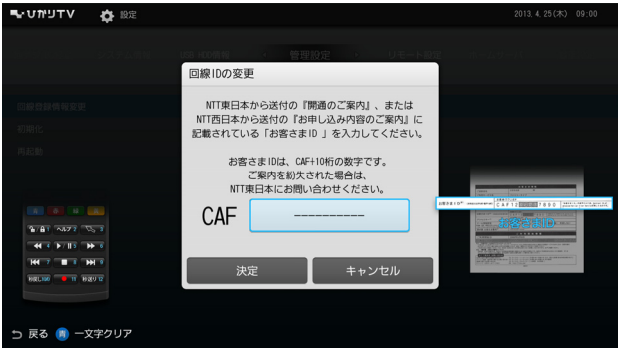
Memo 本画面を表示するには、シークレットモードへの切り換えが必要です。
リモコンの[シークレットキー]を押すか、[ホーム]画面でリモコンの[矢印キー]の下を押して、表示されるメニューから[シークレット]を選択し、シークレットモード暗証番号(初期値「0000」)を入力してください。
(☞ p. 24、97)



- [回線登録情報変更]
  初期設定で登録した回線登録情報を変更します。(☞ p. 75)
- [初期化]
  本商品の設定内容を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。(☞ p. 76)
- [再起動]
  本商品を再起動します。(☞ p. 76)

4-6-1　回線登録情報変更

初期設定で登録した回線登録情報を変更します。
入力する回線情報は「3-2 初期設定」(☞ p. 45)をご参照ください。



（画面はフレッツ 光ネクストをご利用の場合を例としています）

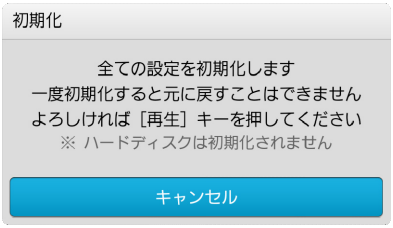
● ［回線登録情報の設定/変更］
回線登録情報をリモコンの［数字キー］で入力します。

Memo　現在登録されている回線登録情報は、［設定］画面の［システム情報］から確認できます。(☞ p. 101)

4-6-2　初期化

本商品の設定内容を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。
リモコンの[再生キー]を押すと初期化を実行します。

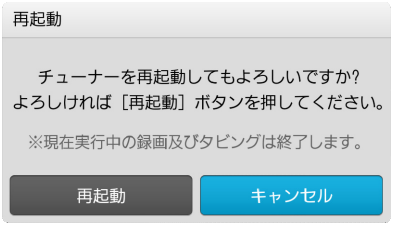
Memo　・初期化終了後、自動的に再起動します。
・USB ハードディスクは初期化（フォーマット）されません。



● ［キャンセル］
初期化を中止します。

4-6-3　再起動

本商品を再起動します。



● ［再起動］
本商品を再起動します。

4-7　リモート設定

リモート接続に関する項目を設定します。
リモート接続の設定を行うと、パソコン・携帯電話からひかりＴＶの PC 向けホームページ・モバイルサイトにアクセスして、リモート録画や視聴予約をしたり、リモートマイビデオを登録したりすることができるようになります。

Memo
・リモート接続は、ひかりＴＶの Web 会員向けのサービスです。サービスを利用するには、会員登録(無料)が必要です。
Web 会員サービスのへのご登録はこちらです。http://www.hikaritv.net/
・リモート接続設定は、PC 向けホームページまたはモバイルサイトのいずれか一方に登録してください。両方に登録する必要はありません。

●［リモート接続設定］
パソコンや携帯電話からリモート録画・視聴予約などを行うための設定情報を表示します。(☞ p. 78)

●［リモート接続確認・解除］
本商品とリモート接続設定をしているユーザーの確認と、接続の解除を行います。(☞ p. 79)

●［リモート予約同期設定］
パソコンや携帯電話からリモート録画・視聴予約した予約情報の同期を設定します。
リモート予約サーバと同期すると、パソコンや携帯電話からの録画・視聴予約情報が本商品に反映されます。(☞ p. 80)

●［エントリーコード表示］
登録されているエントリーコードを表示します。(☞ p. 80)

● ［りもこんプラス機能設定］
りもこんプラス機能の有効・無効を設定します。（☞ p. 81）
りもこんプラス機能を有効にすると、スマートフォンやタブレットから番組を検索してテレビ画面に表示したり、レビューやツイッターを操作したりするなど、モバイル端末をリモコンのように使うことができます。

4-7-1 リモート接続設定

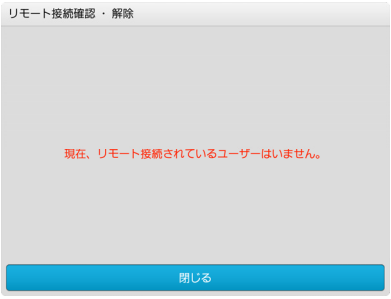
パソコンや携帯電話からリモート録画・視聴予約などを行うための設定情報を表示します。

Memo このパスコードは 1 時間のみ有効です。
パスコードを入力するまでに 1 時間以上経過したときは、再度パスコードを表示させてください。新しいパスコードが発行されます。

● ［リモート接続設定］
接続設定を行うサイトおよび、接続パスコードが表示されます。

4-7-2 リモート接続確認・解除

本商品とリモート接続設定をしているユーザーの確認と、接続の解除を行います。



● ［リモート接続確認・解除］
一覧において、接続を解除したいユーザーを選択し、リモコンの［決定キー］を押すと、［接続解除確認］画面が表示されます。

リモート接続設定を解除する方法は、次のとおりです。

1 リモコンの[矢印キー]でユーザーを選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

［リモート接続解除確認］画面が表示されます。

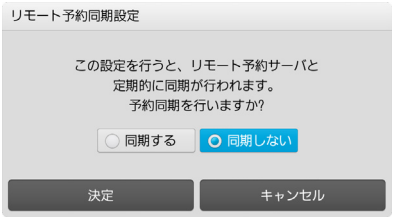
2 リモコンの[矢印キー]で[はい]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

選択したユーザーのリモート接続設定が解除されます。

4-7-3 リモート予約同期設定

パソコンや携帯電話からリモート録画・視聴予約した予約情報の同期を設定します。
リモート予約サーバと同期すると、パソコンや携帯電話からの録画・視聴予約情報が本商品に反映されます。

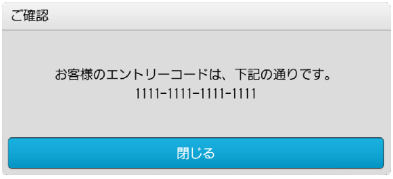
Memo 本設定を行うためには、リモート接続設定(☞ p. 78)を行い、少なくとも1人のユーザーが登録されている必要があります。



- ［同期する］
  リモート予約サーバと同期して、本商品に予約情報を反映します。
- ［同期しない］
  リモート予約サーバと同期せず、本商品に予約情報を反映しません。

4-7-4 エントリーコード表示

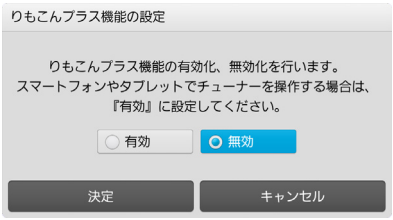
登録されているエントリーコードを表示します。



- ［閉じる］
  エントリーコード表示画面を閉じます。

4-7-5　りもこんプラス機能設定

りもこんプラス機能の有効・無効を設定します。
りもこんプラス機能を有効にすると、スマートフォンやタブレットから番組を検索してテレビ画面に表示したり、レビューやツイッターを操作したりするなど、モバイル端末をリモコンのように使うことができます。



● ［有効］
　りもこんプラス機能を有効にします。
● ［無効］
　りもこんプラス機能を無効にします。

Memo　りもこんプラス機能設定の初期値は［有効］です。

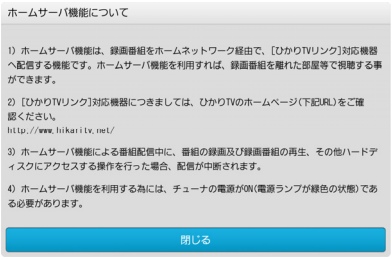
4-8　ホームサーバ機能

ホームサーバに関する項目を設定します。
ホームサーバ機能の設定を行うと、別の部屋にあるひかりＴＶリンク対応のテレビなどで、本商品で録画した番組を見ることができます。

- ［ホームサーバ機能について］
  ホームサーバ機能についての説明を表示します。（☞ p. 83）
- ［ホームサーバ機能］
  ホームサーバ機能の有効・無効を設定します。（☞ p. 83）
- ［サーバ情報］
  ホームサーバの情報を表示します。（☞ p. 84）
- ［アクセス制限］
  本商品へのアクセス制限を設定します。（☞ p. 84）
- ［クライアント機器一覧(アクセス許可設定)］
  アクセス制限を設定したとき、本商品へのアクセスを許可する機器を設定します。（☞ p. 85）
- ［配信年齢制限］
  視聴年齢制限がある番組について、クライアント機器への配信制限を設定します。ここで設定した年齢以下の番組のみを、クライアント機器へ配信します。（☞ p. 86）
- ［ネットワーク設定］
  ホームサーバ機能を使うためのネットワークを設定します。
  （☞ p. 87）

4-8-1　ホームサーバ機能について

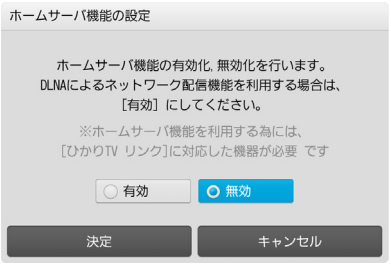
ホームサーバ機能についての説明を表示します。



● ［閉じる］
　［ホームサーバ機能について］画面を閉じます。

4-8-2　ホームサーバ機能

ホームサーバ機能の有効・無効を設定します。



● ［有効］
　ホームサーバ機能を有効にします。
● ［無効］
　ホームサーバ機能を無効にします。

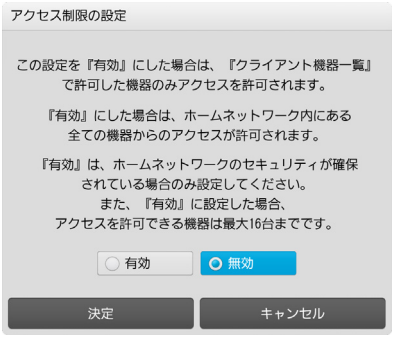
4-8-3 サーバ情報

ホームサーバの情報を表示します。

● [閉じる]
サーバ情報画面を閉じます。

4-8-4 アクセス制限

本商品へのアクセス制限を設定します。



Memo アクセス制限を有効にすると、アクセスが許可されたクライアント機器のみ接続できるようになります。
アクセスを許可するには「クライアント機器一覧(アクセス許可設定)」(☞ p. 85)より設定してください。

● [有効]
アクセス制限を有効にします。
許可されたクライアント機器からのみ、本商品に接続できます。

● [無効]
アクセス制限を無効にします。
すべてのクライアント機器から、本商品に接続できます。

4-8-5　クライアント機器一覧(アクセス許可設定)

アクセス制限(☞ p. 84)を設定したとき、本商品へのアクセスを許可する機器を設定します。

● [アクセスの許可]

1 リモコンの[矢印キー]で本商品へのアクセスを許可する機器を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

右側の[許可]にが入り、アクセスが許可されます。

● [アクセス許可の解除]

1 リモコンの[矢印キー]で本商品へのアクセス許可を解除する機器を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

右側の[許可]にあるが消え、[アクセス許可の解除]画面が表示されます。

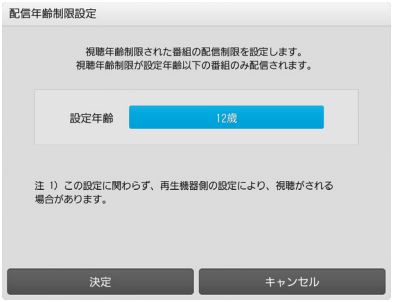
2 リモコンの[矢印キー]で[はい]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

アクセス許可が解除されます。

Memo　クライアント機器が7台以上見つかったときは、リモコンの[矢印キー]の左右を押して、表示を切り換えてください。

4-8-6　配信年齢制限

視聴年齢制限がある番組について、クライアント機器への配信制限を設定します。
ここで設定した年齢以下の番組のみを、クライアント機器へ配信します。

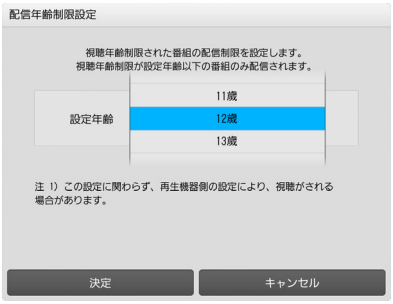


● ［設定年齢］

1　リモコンの[矢印キー]で設定年齢を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

年齢リストが表示されます。

2　リモコンの[矢印キー]の上下で年齢を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。



配信年齢が設定されます。

4-8-7　ネットワーク設定

ホームサーバ機能を使うためのネットワークを設定します。
通常は[自動]で設定されています。ネットワーク設定を変更したいときは、[手動]に変更して設定してください。

4-9 録画設定

録画に関する項目を設定します。

Memo 動作確認済みの USB ハードディスクについては、ひかりＴＶホームページでご確認ください。
http://www.hikaritv.net/point/recording/

- [USB ハードディスク接続設定]
  本商品に接続している USB ハードディスクを認証して使えるようにします。(☞ p. 89)
- [USB ハードディスク取り外し]
  本商品に接続している USB ハードディスクを安全に取り外します。(☞ p. 92)
- [USB ハードディスクフォーマット]
  本商品に接続している USB ハードディスクをひかりＴＶ録画用にフォーマットします。(☞ p. 93)
- [自動削除設定]
  USB ハードディスクに録画されている番組の自動削除機能を設定します。(☞ p. 93)
- [USB ハードディスク省電力設定]
  本商品がスタンバイのとき、本商品に接続している USB ハードディスクの省電力機能を設定します。(☞ p. 94)
- [プレビュー再生設定]
  録画リスト画面でのプレビュー再生機能を設定します。(☞ p. 95)

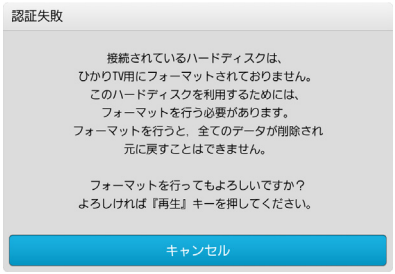
4-9-1　USB ハードディスク接続設定

本商品に接続している USB ハードディスクを認証して使えるようにします。

1 **[録画設定]画面で[USB ハードディスク接続設定]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。**

初めて[USB ハードディスク接続設定]を行うと、[認証失敗]画面が表示されます。
その他のエラー画面が表示されたときは、「こんな表示が出たら」(☞ p. 90)を参照してください。

2 **リモコンの[再生キー]を押します。**



USB ハードディスクのフォーマットが開始します。
フォーマット中は「ハードディスクをフォーマットしています。」と表示されます。

フォーマットが終了すると、[完了]画面が表示されます。

3 **リモコンの[決定キー]を押します。**

[録画設定]画面に戻ります。

■こんな表示が出たら

USB ハードディスク接続設定でエラー画面が表示されたときは、次の解決方法をご確認ください。

表示内容	原因と解決法
認証失敗 異なる契約番号で利用されていたハードディスクが接続されています。 このハードディスクを利用するためには、フォーマットを行う必要があります。 フォーマットを行うと、全てのデータが削除され元に戻すことはできません。 フォーマットを行ってもよろしいですか？ よろしければ「再生」キーを押してください。	接続されている USB ハードディスクは、本商品とは違うチューナで使用されていました。 本商品で使用するためには、画面に表示されるメッセージにしたがって、フォーマットしてください。
認証失敗 接続されているハードディスクは、ひかりＴＶ用にフォーマットされておりません。 このハードディスクを利用するためには、フォーマットを行う必要があります。 フォーマットを行うと、全てのデータが削除され元に戻すことはできません。 フォーマットを行ってもよろしいですか？ よろしければ「再生」キーを押してください。	接続されている USB ハードディスクは、ひかりＴＶ用にフォーマットされていません。 本商品で使用するためには、画面に表示されるメッセージにしたがって、フォーマットしてください。
認証失敗 接続されているハードディスクは、ご利用になれません。 ハードディスクに書き込む事ができません。	接続されている USB ハードディスクは、読み取り専用です。 別の USB ハードディスクを用意して、接続しなおしてください。
認証失敗 ハードディスク認証中にエラーが発生しました。 時間をおいてから、再度お試しください。	接続されている USB ハードディスクの認証中に、原因不明のエラーが発生しました。 時間をおいてから、再度 USB ハードディスク接続設定をお試しください。

認証失敗 ハードディスク認証中にエラーが発生しました。 時間をおいてから、再度お試しください。 このエラーが何度も表示される場合は、ハードディスクが壊れている可能性があります。	接続されている USB ハードディスクが壊れている可能性があります。別の USB ハードディスクを用意して、接続しなおしてください。
認証失敗 ハードディスクの読み取りに失敗しました。再起動して下さい。 何度か再起動を行っていただいても、このエラーが何度でも表示される場合は、ハードディスクが壊れている可能性があります。 いますぐ再起動しますか?	接続されている USB ハードディスクが壊れている可能性があります。別の USB ハードディスクを用意して、接続しなおしてください。

4-9-2　USB ハードディスク取り外し

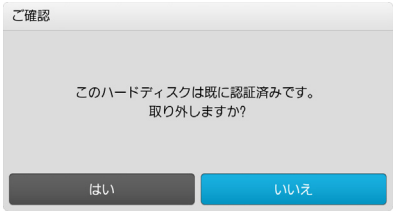
本商品に接続している USB ハードディスクを安全に取り外します。

1 **[録画設定]画面で[USB ハードディスク取り外し]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。**

[ご確認]画面が表示されます。

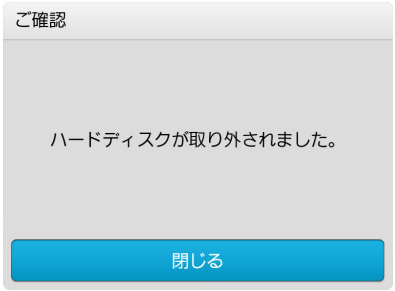
Memo
- 未認証のUSBハードディスクを取り外すときには、「ハードディスクを取り外すと、録画ができなくなります。ハードディスクを取り外してもよろしいですか?」と表示されます。
- 認証済みのUSBハードディスクを取り外すときには、「このハードディスクは既に認証済みです。取り外しますか?」と表示されます。

2 **[決定]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。**



USB ハードディスクを取り外しているときは「ハードディスクを取り外し中です。」と表示されます。
取り外しが終了すると、[完了]画面が表示されます。

3 **リモコンの[決定キー]を押します。**

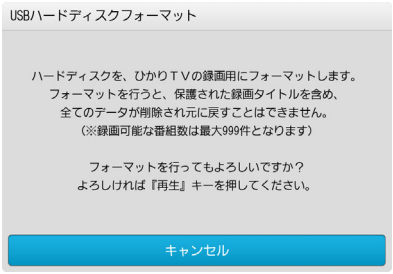


[録画設定]画面に戻ります。

4-9-3　USB ハードディスクフォーマット

本商品に接続している USB ハードディスクをひかりＴＶ録画用にフォーマットします。

お願い！　フォーマット中に、本商品から USB ハードディスクを取り外さないでください。

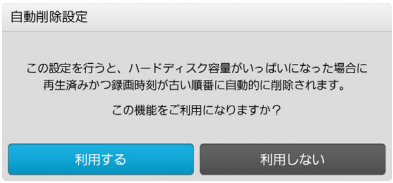


リモコンの[再生キー]を押すとフォーマットを実行します。

● キャンセル
USB ハードディスクのフォーマットを中止します。

4-9-4　自動削除設定

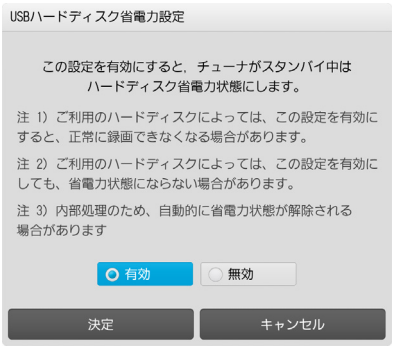
USB ハードディスクに録画されている番組の自動削除機能を設定します。



Memo　自動削除設定を[利用する]に設定すると、新しい番組を録画するための USB ハードディスク容量が確保できないとき、再生済みの番組の中で録画日時が古いものから順番に削除します。
USB ハードディスク容量が確保されると、自動削除を停止して新しい番組を録画します。

4-9-5　USB ハードディスク省電力設定

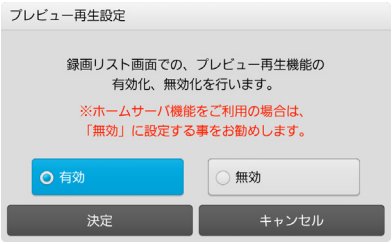
本商品がスタンバイのとき、本商品に接続している USB ハードディスクの省電力機能を設定します。
設定を[有効]にすると、本商品がスタンバイ状態になっている間は、USB ハードディスクを省電力状態にします。



- ［有効］
  USB ハードディスク省電力機能を有効にします。
- ［無効］
  USB ハードディスク省電力機能を無効にします。

4-9-6　プレビュー再生設定

録画リスト画面でのプレビュー再生機能を設定します。



- ［有効］
  プレビュー再生機能を有効にします。
- ［無効］
  プレビュー再生機能を無効にします。

4-10 視聴・購入制限設定

本商品の視聴・購入制限に関する項目を設定します。

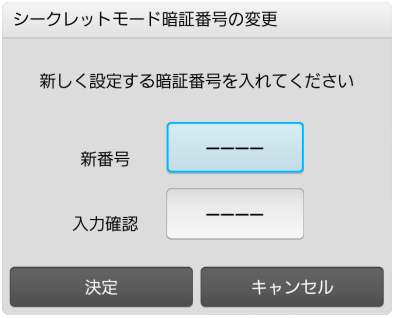
Memo 本画面を表示するには、シークレットモードへの切り換えが必要です。
リモコンの[シークレットキー]を押すか、[ホーム]画面でリモコンの[矢印キー]の下を押して、表示されるメニューから[シークレット]を選択し、シークレットモード暗証番号(初期値「0000」)を入力してください。
(☞ p. 24、97)

- [シークレットモード暗証番号]
  シークレットモードで使用する暗証番号を設定します。(☞ p. 97)
- [シークレットモード表示設定項目]
  シークレットモードのときに表示される項目を設定します。
  (☞ p. 98)
- [購入制限暗証番号]
  コンテンツを購入するときに使う購入制限暗証番号を設定します。
  (☞ p. 99)

4-10-1 シークレットモード暗証番号

シークレットモードで使用する暗証番号を設定します。

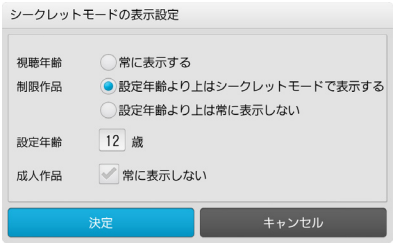
Memo　初期値は「0000」です。
安全性の観点から、設定画面より暗証番号を変更してください。



- ［新番号］
  シークレットモード暗証番号（数字 4 桁）をリモコンの［数字キー］で入力します。
- ［入力確認］
  ［新番号］で入力した番号を確認するため、再度リモコンの［数字キー］で入力します。

4-10-2 シークレットモード表示設定項目

シークレットモードのときに表示される項目を設定します。



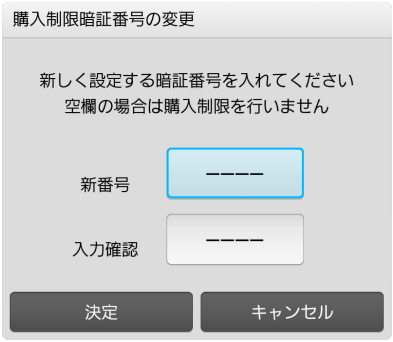
- ［視聴年齢制限作品］
  視聴年齢制限作品の表示条件を設定します。
- ［設定年齢］
  ［視聴年齢制限作品］を有効にしたときに、基準となる年齢を設定します。
- ［成人作品］
  成人向け作品の表示/非表示を切り換えます。

Memo

・初期値は次のとおりです。
［視聴年齢制限］＝［設定年齢より上はシークレットモードで表示する］
［設定年齢］　　＝［12 歳］
・次のように設定したとき、視聴対象年齢が 18 歳以上のコンテンツはシークレットモードに設定したときのみに表示されます。
［視聴年齢制限］＝［設定年齢より上はシークレットモードで表示する］
［設定年齢］　　＝［17 歳］

4-10-3 購入制限暗証番号

コンテンツを購入するときに使う購入制限暗証番号を設定します。



- ［新番号］
  購入制限暗証番号（数字 4 桁）をリモコンの［数字キー］で入力します。
- ［入力確認］
  ［新番号］で入力した番号を確認するため、再度リモコンの［数字キー］で入力します。

Memo　初期値は「----」（購入制限なし）です。
コンテンツの購入を制限するときは、暗証番号を設定してください。
安全性の観点から、設定画面より暗証番号を変更してください。

4-11 USBハードディスク情報

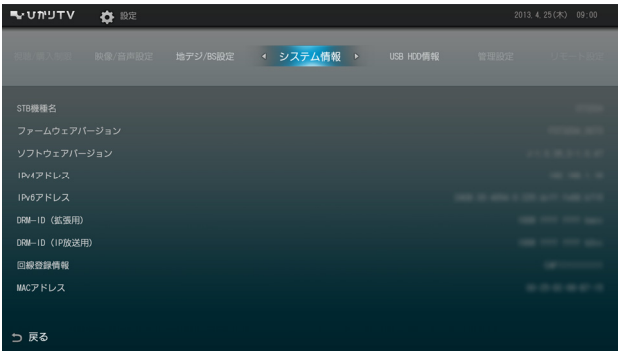
本商品に接続しているUSBハードディスクから取得した情報を表示します。

- [USB HDD使用量]
  USBハードディスクの使用状況を表示します(使用量/全容量)。
- [型番]
  USBハードディスクの型番を表示します。
- [録画目安時間]
  4種類の録画目安時間を表示します。
  ・ひかりＴＶ HD画質　・ひかりＴＶ SD画質
  ・地デジ　・BS
- [全録画タイトル数]
  録画番組の番組数を表示します。

Memo USBハードディスク情報は、USBハードディスク接続設定を行うと表示されます。(☞ p.89)

4-12 システム情報

本商品のシステム情報を表示します。



- [STB 機種名]
  本商品(STB：セットトップボックス)の機種名を表示します。
- [ファームウェアバージョン]
  ファームウェアのバージョンを表示します。
- [ソフトウェアバージョン]
  ソフトウェアのバージョンを表示します。
- [IPv4 アドレス]
  IPv4 アドレスを表示します。
- [IPv6 アドレス]
  IPv6 アドレスを表示します。
- [DRM-ID(拡張用)]
  拡張用 DRM-ID を表示します。
- [DRM-ID(IP 放送用)]
  IP 放送用 DRM-ID を表示します。
- [回線登録情報]
  回線登録情報を表示します。
- [MAC アドレス]
  MAC アドレスを表示します。

4-13 バージョン情報

本商品のバージョン情報を表示します。

● 各種バージョンを表示します。

5 ひかりTVを楽しむ

本章では、テレビ番組視聴、録画予約、ビデオ鑑賞、カラオケ、ショッピングなど、ひかりＴＶサービスの使いかたについて説明します。

5-1 ひかりTVサービスの内容

ひかりＴＶサービスを利用するには、ホーム画面からサービスを選びます。
地上デジタル放送/BS デジタル放送を視聴するには、リモコンの[地デジキー]または[BS キー]を押します。

1 リモコンの[ホームキー]を押します。

ひかりＴＶのホーム画面が表示されます。
下記は、初期画面の表示例です。ホーム画面は、お好みに応じて表示内容を変更できます。リモコンの[矢印キー]の左右を押すと、画面に表示されていないメニュー(パネル)が表示されます。

①現在の日時
　現在の日時が表示されます。
②メニュー（パネル）
　初期画面にはメニューが用意されており、そのうちの４つが表示されています。
③リモコンボタン表示
　この画面で使用するボタンの機能が表示されます。

・リモコンの［矢印キー］の上を押すと、［検索］画面が表示されます。
・リモコンの［矢印キー］の下を押すと、設定・お知らせが表示されます。
・リモコンの［決定キー］を長押しすると、［ホーム］画面の編集メニューが表示されます。

詳細については、株式会社 NTT ぷららホームページ(http://www.hikaritv.net/)をご覧ください。

6 付 録

6-1 故障かなと思ったら

本商品が動作しないなどでお困りのときは、まず次の点を確認してください。これらの点を確認しても本商品が正しく動作しない場合は、裏表紙に記載の弊社サポート窓口までお問い合わせください。

現象:まったく動作しない

原因:本商品に電気が供給されていません。

対処:本商品と AC アダプタが正しく差し込まれているか確認してください。(☞ p. 36、39)

対処:AC アダプタが、本商品のものであることを確認してください。

原因:本商品が壊れている。

対処:ステータスランプおよび、予約/お知らせランプが交互に桃色点滅している場合は、本商品が故障している可能性があります。裏表紙に記載の弊社サポート窓口までお問い合わせください。

現象:画面が表示されない

原因:本商品と周辺機器が正しく接続されていません。

対処:周辺機器と正しく接続されているか確認してください。(☞ p. 30)

対処:接続している端子や、接続の向きが正しいか確認してください。(☞ p. 30)

対処:ネットワーク接続機器の LINK ランプなどを確認してください。

原因:本商品の STB 電源がオンになっていない。

対処:電源スイッチを押して、STB 電源をオンにしてください。(☞ p. 40)

原因:本商品がスタンバイ状態になっている。

対処:電源ランプが橙色に点灯している場合は、本商品はスタンバイ状態です。リモコンの[STB 電源キー]を押して、スタンバイを解除してください。(☞ p. 23)

原因:テレビの外部入力の選択が間違っている。

対処:接続しているテレビの外部入力の選択を確認してください。

現象:ホーム画面が表示されない

原因:サーバとの通信でエラーが発生している。

対処:電源ランプが桃色に点滅し続けている場合は、サーバとの通信でエラーが発生しております。本商品とネットワーク接続機器の接続を確認し、本商品から AC アダプタを抜いて、再度、本商品に AC アダプタを接続してください。(☞ p.30、39)

原因:サービスの申し込みが完了していない。

対処:フレッツ 光ネクスト、NTT 東日本の「Bフレッツ」、NTT 西日本の「フレッツ・光プレミアム」または「Bフレッツとフレッツ・v6 アプリ」のお申し込みが完了しているかご確認ください。(☞ p.47、48)

対処:ひかりＴＶのお申し込みが完了しているかご確認ください。

原因:現在のお申し込み内容ではひかりＴＶが利用できない。

対処:お申し込み内容をご確認ください。

現象:画面が暗い

原因:本商品と周辺機器が正しく接続されていません。

対処:周辺機器と正しく接続されているか確認してください。(☞ p.30)

対処:接続している端子や、接続の向きが正しいか確認してください。(☞ p.30)

現象:リモコンから操作できない

原因:リモコンの電池が消耗している。

対処:電池を交換してください。

原因:電子レンジや無線装置のそばで使用している。

対処:リモコンの無線通信に支障をきたし、正常に操作ができない場合があります。電子レンジや無線装置から離れてご使用ください。(☞ p.11)

原因:本商品とリモコン認証（ペアリング）ができていない。

対処:リモコンをもう一度認証してください。リモコン認証を行うには、リモコンの[データキー]と[ホームキー]を同時に長押しします。(☞ p.41)
リモコンを 2 台以上使用している場合は、最後に認証したリモコンとしか通信できません。使用するほうのリモコンと本商品を、もう一度認証してください。

現象:リモコンでの操作が効かない / 3 分以上放置しても画面が動かない

原因:本商品で異常が発生しています。

対処:本商品の AC コードを抜いて、再度、接続してください。(☞ p. 39)

現象:日本語と英語が同時に聞こえる / 英語しか聞こえない

原因:音声の出力方法が正しく設定されていません。

対処:設定が正しいか確認してください。(☞ p. 64)

現象:音声がステレオで聞こえない

原因:本商品と周辺機器が正しく接続されていません。

対処:周辺機器と正しく接続されているか確認してください。(☞ p. 30)

対処:接続している端子や、接続の向きが正しいか確認してください。(☞ p. 30)

現象:音声が聞こえない

原因:テレビが消音状態になっています。

対処:リモコンの[音量キー]の＋を押して、消音を解除してください。
(☞ p. 23)

原因:本商品と周辺機器が正しく接続されていません。

対処:周辺機器と正しく接続されているか確認してください。(☞ p. 30)

対処:接続している端子や、接続の向きが正しいか確認してください。(☞ p. 30)

現象:「番号が違います」などと表示される

原因:暗証番号などを確認してください。

対処:暗証番号を忘れた場合は、初期化して再度設定いただくか、裏表紙に記載の弊社サポート窓口までお問い合わせください。

現象:映像コンテンツの視聴時に何も表示されない / 視聴時の画像が乱れる

原因:ご利用の環境や回線の状況によっては、まれに画像が乱れる場合があります。

対処:本商品から AC アダプタを抜いて、ネットワーク接続機器を再起動し、再度、本商品に AC アダプタを接続してください。それでも解消しない場合は、裏表紙に記載の弊社サポート窓口までお問い合わせください。

現象:HDMI 接続で映像が映らない / 正常な映像が映らない

原因:本商品の STB 電源をオンにしたあとに、テレビの電源をオンにした。

対処:本商品の STB 電源をオフにしたあと、再度、STB 電源をオンにしてください。

原因:本商品の STB 電源がオンの状態で、HDMI 端子ケーブルを抜き差しした。

対処:本商品の STB 電源をオフにして、HDMI 端子ケーブルを接続しなおし、再度、本商品の主電源をオンにしてください。

原因:DVI デジタル入力端子に接続した。

対処:HDMI 入力端子と接続してください。(☞ p.32)

現象:USB ハードディスクに録画できない

原因:正しく接続されていない。

対処:本商品と USB ハードディスクとの接続を確認してください。(☞ p.37)

原因:正しく認証されていない。

対処:[USB ハードディスク情報]画面で認証されていることを確認してください。(☞ p.100)

原因:USB ハードディスクの電源がオフになっている。

対処:USB ハードディスクの電源をオンにしてください。

現象:USB ハードディスクに録画した番組が再生できない

原因:USB ハードディスクに録画した番組のデータが壊れている。

対処:お客様のご利用環境を確認ください。
USB ハードディスクを使用中に次の原因などでデータが壊れる場合があります。

- USB ハードディスクが故障した
- ネットワークに異常が発生した
- USB ハードディスクへのアクセス中に、本商品の主電源をオフにした
- USB ハードディスクへのアクセス中に、USB ケーブルを抜去した、または、USB ハードディスクの電源をオフにした

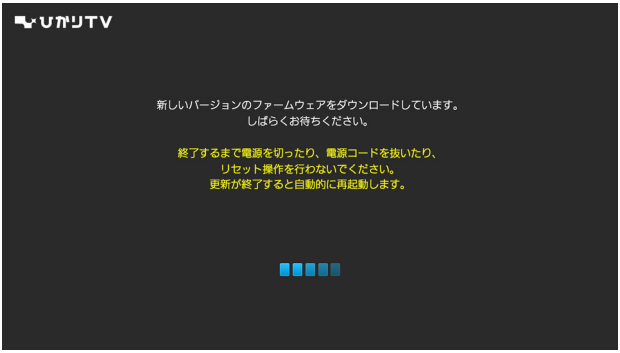
6-2　ファームウェア更新について

本商品は自動的にファームウェアを更新します。
新しいファームウェアがあるときは次のタイミングで更新されます。

- 主電源をオンにしたとき
- STB 電源オフ(スタンバイ)状態にした直後
- STB 電源オフ状態で、1 日 1 回の定期更新の時間になったとき

Memo　1 日 1 回の定期更新の時間に STB 電源オフ状態になっていない場合は、更新されません。

ファームウェア更新時は次の画面が表示されます。



更新が終わると、自動的に再起動します。

⚠ 注意
電源ランプが点滅状態(赤/橙色)のときには、主電源をオフにしたり、AC アダプタのコードを抜いたりしないでください。本商品が正常に起動しなくなる恐れがあります。

Memo　・ファームウェア更新中は、電源ランプが点滅(赤色)、もしくは反転(赤/橙色)します。
・ファームウェア更新には、約 20 分かかります。

6-3 仕様一覧

Memo 外観・仕様などは、改良のため予告なしに変更することがあります。

StreamCruiser Smart TV 3200

項 目		仕 様
LANインタフェース	ポート数	1ポート RJ45コネクタ(LAN)
	準拠規格	IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3u(100BASE-TX)
	データ伝送方式	10Mbps/100Mbps・全二重/半二重 自動認識
	MDI/MDI-X	自動認識
デジタル映像・音声出力(HDMI)		1系統 HDMI端子 タイプA
アナログ映像出力(コンポジット)		1系統 RCAピンジャック
アナログ音声出力(左右)		1系統 RCAピンジャック
デジタル音声出力(S/PDIF)		1系統 光角型コネクタ
リモコンインタフェース		無線式 RF4CE
USBインタフェース		2系統 (前面・背面) USB 2.0
SDメモリカードスロット		1系統 SD/SDHC対応
スマートフォン連携タグ		NFC対応タグ
外形寸法		W 257mm × H 40mm × D 182mm (突起部、縦置き台含まず)
設置方法		横置き、縦置き可能
電磁妨害波規格		VCCI Class B
質 量		約 700g
定格入力電圧・電流		DC12V/3A
消費電力		36W以下(USB含む)
動作環境温度・湿度		5℃～40℃、5%～85% (結露なきこと)

端末仕様:映像・音声復号化機能

項 目		仕 様
映像符号化方式		ISO/IEC 13818-2(MPEG-2 MP@ML)
		ISO/IEC 14496-10 (MPEG-4 Part10 Advanced Video Coding/ ITU-T Rec. H.264)
音声符号化方式		ISO/IEC 11172-3(MPEG-1 Layer Ⅰおよび Ⅱ)
		ISO/IEC 13818-7(MPEG-2 AAC-LC)
		ISO/IEC 14496-3、 Subpart 4(MPEG-4 AAC-LC)
多重分離	多重方式	ISO/IEC 13818-1
	ストリーム タイプ	トランスポートストリーム(TS/TTS)

端末仕様:ストリーミング機能

項 目	仕 様
伝送プロトコル	RTP(RFC 1889)
	RTCP(RFC 1890)
VODストリーミング 制御プロトコル	RTSP(RFC 2326)
ストリーミングデータ受信 方式	VOD:ユニキャスト
	テレビ放送:マルチキャスト (MLDv2)

端末仕様:パケットロス補償機能

項 目	仕 様
パケット欠損回復方式	ProMPEG COP3 1D

ACアダプタ

項 目	仕 様
外形寸法	W 47mm × H 34mm × D 108mm
重 量	約 350g
電 源	AC100V±10% (50/60Hz) 差込プラグはJIS C 8303に規定された普通型2極に対応。 JWDS0028に規定するレベルⅡの耐トラッキング性能を満たす。
出 力	DC12V/3A
安全性	電気用品安全法認可品

リモコン

項 目	仕 様
外形寸法	W 50mm × H 175mm × D 24mm*　　*最厚部
電 池	単3形/2本
無線通信方式	RF4CE
通信距離	約10m（見通し）
感圧センサ	静電式
通信インタフェース	無線：STB操作
	赤外線：テレビ操作

6-4 索 引

GPL・LGPL について 15
SD/SDHC カードに関する注意事項 . 14
ST-3200 ご利用の流れ 16
お客様情報に関するご注意 14
各部名称 18
　HDMI 出力端子 20
　RFID タグ 21
　SD カードスロット 18
　USB ポート 18, 20
　映像出力端子 20
　ステレオ音声 出力端子 20
　電源スイッチ 18
　電源端子 20
　電源ランプ 18, 19
　ネットワーク接続ポート 20
　光デジタル 音声出力端子 20
　ペアリングボタン 20
　予約/お知らせランプ 18, 19
画 面
　HDMI-CEC 設定 67
　USB ハードディスク省電力設定 .. 94
　USB ハードディスク情報 100
　USB ハードディスク接続設定 .. 89
　USB ハードディスク取り外し .. 92
　USB ハードディスクフォーマット . 93
　アクセス制限 84
　映像・音声設定 63
　映像出力先形状設定 66
　エントリーコード表示 80
　音声字幕 64
　回線登録情報変更 75
　管理設定 74
　クライアント機器一覧 85
　県域 70
　購入制限暗証番号 99
　サーバ情報 84
　再起動 76
　シークレットモード暗証番号 97
　シークレットモード表示設定項目 . 98
　システム情報 101
　視聴・購入制限設定 96
　自動削除設定 93
　初期化 76
　設定画面の基本操作 56
　設定画面の共通操作 58
　操作確認音設定 68
　地デジ・BS 設定 69
　地デジチャンネル設定 71
　デジタル音声出力設定 65
　ネットワーク設定 72, 87
　バージョン情報 102
　配信年齢制限 86
　番組表ジャンル色分け設定 .. 67
　ビデオ未視聴アイコン表示設定 . 68
　プレビュー再生設定 95
　ホームサーバ機能 82, 83
　ホームサーバ機能について .. 83
　文字スーパー表示設定 73
　郵便番号 70
　リモート接続確認・解除 79
　リモート接続設定 78
　リモート設定 77
　リモート予約同期設定 80
　りもこんプラス機能 81
　録画設定 88
故障かなと思ったら 104
ご使用にあたって 9
仕様 109
初期設定 45

接続 30
AV ケーブルによる接続. . . 33, 34
USB ハードディスクの接続. . . . 37
接続手順 30
光デジタル端子ケーブル
による接続. 35
付属 HDMI 端子ケーブル
による接続. 32
設置 27
縦置き 28
横置き 27
地上デジタル
/BS デジタル放送の設定 50
知的財産権について 10
テレビを操作する 42
電源をオンにする 39
STB 電源. 40
主電源 40
スタンバイ 40
スリープ 40
電波に関する注意事項 11
登録商標について 10
パッケージの内容 17
ファームウェア更新. 39, 108
ペアリング 41
返却などされる場合の留意事項 . . 10
本商品の設定 55
リモコンの操作方法 22
シークレットキー 24
電池の挿入 25
マウスモード 26
モード切換キー 24
リモコン認証 41
録画に関するご注意 12